京城日報

二十七日夕刊
(朝夕刊を併せて八頁)

○芬蘭獨立承認條件

ヘルシングフォルス(芬蘭の首府)來電＝同地英國領事は元老院に對し英國が一時芬蘭の獨立を承認する旨を通告し其條件に就き交渉開始されたるが英國側は獨逸の爲め押さへられたる芬蘭內の一切の物を解放するにありと(哈爾賓電報)

○セミヨノフ隊長進發

セミヨノフ隊長等は二十五日西部に向け進發せり(哈爾賓電報)

○ホ長官と處罰布告

東淸鐵道長官は沿線戰時狀態の布告實施に關し煽動的行動、作業中止、秩序破壞、印刷物無代配付等を嚴禁し違反者に對し二箇月以內の拘留若くば三萬留以內の罰金に處する旨布告したり(哈爾賓電報)

○特別委員設定贊成

ミルバハ伯は獨逸政府がブレスト條約に關し莫斯科に於て特別委員の設定に贊成せる旨をチチエリン氏に報告したり(莫斯科電報)

○墨玖馬國交斷絕

墨國政府は玖馬との國交斷絕を聲明せり(倫敦電報)

○コ國對獨宣戰布告

中米コスタリカ共和國は對獨宣戰を布告せり(紐育電報)

○獨師團叛亂者處罰

ドウインスクに駐屯せる獨逸の二箇師團は西部戰線に出動す可きを命ぜらるゝや叛亂を起し謀叛者六十名銃殺され千名獄に投ぜられたりレオポルト親王は調査の爲め同地に著せり(哥港電報)

○英首相の聲明

英國首相ロイド、ジョージ氏は今や獨潛航艇の危險多きを感ぜざる旨聲明せり(倫敦電報)

○吳總監學生に訓諭

支那留學生歸東學業に就かん

警察總監吳炳湘氏は支那留學生三十七名を招待聽聽したる後警察廳に赴き日支軍事協定十二箇條、附屬公文書四箇條を朗讀し本協定たるや本年三月日本の西伯利出兵論盛んなる時支那政府は聯合國軍事行動の範圍を制限する爲め是れに加入する必要起り進んで公文書を交換し其結果協定の調印を見るに至りたるものにして今更是れを取消す能はず從つて諸君が奈何に今後運動するも効力無し無用の運動は中止す可しと說諭し學生等は協定全文を研究したる上主權を損する危險を認めずんば速に東京に歸り學業に就く可しと答へて解散せり日支協定の內容は既に馮總統より學校生徒に提示せるに又も此事あり而して其眞相は支那人間には公然の秘密となり居れり(北京特電)

○外交調査會開會

二十七日外交調査會開會寺內首相以下出席後藤外相より對支外交方針を陳述せり(東京電報)

○參列來賓式場行

大正水利組合竣工式參列來賓一同は二十七日朝新義州發批峴驛に下車式場に向ふ(批峴驛にて特派員發電)

○愛媛縣視察團

愛媛縣教育視察團淸水校長外七名は廿七日朝來釜一泊の上京城に向ふ(釜山特電)

○牧山代議士通過

牧山代議士は家族同伴二十七日著釜直に午前十時半發列車にて歸京せり(釜山特電)

◉總督府三課新設

今回總督官房總務局に統計課及び臨時國勢調査課を度支部に臨時關稅調査課を置き二十七日より事務開始せり

◉國勢調査と統計事務

調査事項の內容＝統計事務の統一

總務課長　工藤壯平氏談

別項記載の如く今回臨時國勢調査、統計並に臨時關稅調査の三課を新設されたるが國勢調査及び統計兩課課長兼務を命ぜられたる工藤壯平氏は其新設兩課の事業に就て大要左の如く語れり

▼國勢調査　は英國のセンサスに當る、センサスは戸口調査とか人口調査と譯すべきが我國勢調査は差當りセンサスの程度に止まるべきも將來產業其他國家的社會的各種事業の基礎的調査を遂げんとするものなるを以て國勢調査と命じたるものなるべし而して調査事項は初め十三箇條位の豫定なりしも先づ以て凡そ十箇條を實施することゝならん其內容は主として朝鮮に於ける戸口の狀態如何を調査するものにして大正九年十月一日午前零時の現在を押へて其時刻に於ける人口、各人の年齡、男女其他の事項を世帶主及び準世帶主(世帶主とは民籍の戸主に類するもの即ち一戸の代表者にして準世帶主とは法人の代表者兵營の隊長の如きを謂ふ)に就て調査す調査員は一人五、七十戸を受持ち調査し得たる處を世帶表に記入し監督員之を檢查し更に之を個票に寫す個票は個人の狀態を明かにする爲に調製するものなり國勢調査に要する年月は內地及び臺灣は七年、朝鮮は五年の見込みなるも或は困難ならんか國勢調査經費は內地にては前期議會に於て國費二百十萬圓、地方費百六十萬圓の豫算を計上せしも地方費の分は削除されたるに依り政府は他に然るべき方法を講ずることゝ成るべし朝鮮にては百三十萬圓にて今年度の年度割三十九萬圓是より準備に著手する譯なるが本年は慶南、京畿、咸南、平南、平北の五道に或地點を選び試驗調査を行ひ尙職員を地方に派して講習會を開く筈國勢調査實施に當りては或は兵役の關係又は租稅增徵の準備にあらずやとの疑を起す者あるやも知れず斯る誤解なき樣調査の趣旨を徹底せしむるも亦一事業たるを失はざるべし要之右の調査は靜態調査にして十年に一回宛施行さるべきが次で或時期に於て動態調査を行ひ移動の狀態を知るの要あるべし

▼統計事務　は從來各部に於て係を設けありたるも之が統一、連絡を圖る爲め一課を設くることゝ成りたる次第にて統計の樣式に改良を加へ或は地方に係員を出張せしめ指導を爲さしむる等要するに統計の正確と其調製の敏速とを期するものなり

◉軍經理會議(第一日)

駐剳軍經理會議は豫定の如く廿七日午前九時より軍司令部會議室に於て開會出席者五十七名松川軍司令官訓示、廣瀨經理部長訓示、經理部長會議事項に關する指示あり終つて正午休憩午後は一時より開會軍經理部指示事項ありたり

◉主計會議開會　憲兵隊管下主計會議は廿七日より三日間軍司令部に於て開會する事となれり

本紙定價　▲一部金二錢五厘▲一ヶ月金五十五錢▲郵稅一ヶ月金十五錢▲三ヶ月分金一圓▲六ヶ月分[illegible]に限り前金▲郵券代用は二割增
廣告料金　▲五號活字十五字詰一行八十錢▲[illegible]七字詰一行一圓[illegible]
發行兼編輯人　奧田□毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
電話　編輯[illegible]　營業[illegible]
振替口座京城三〇〇番

◉辭令　今回左の通り辭令ありたり

臨時土地調査局監査官　青山良敬
同　小原乙二郎
依願免本官(二十五日附)
總督府事務官　工藤壯平
總督官房總務局統計課長兼總督官房總務局臨時國勢調査課長兼務を命す(二十七日附)
總督府事務官　矢鍋永三郎
度支部臨時關稅調査課長兼務を命す(二十七日附)

◉增資實現期

鮮銀當局談

朝鮮銀行增資問題に關し鮮銀某當局は下の如く語れり、朝鮮銀行の公稱資本金二千萬圓を倍額となし四千萬圓に增資するの件に就ては世間既に周知の事であつて今更ら云爲す可き性質のものではないが之れを時期の問題から言うても現今は最も好時期であらうと思ふ何れにしても新株の拂込二百五十萬圓は來る六月拂込濟みとなるので此の拂込の收受の終り八月の株主總會で決議の結果愈增資が實現されるのであるから九、十月の交であらうと思はれる。現在の朝鮮銀行資金の平均を見るに內地朝鮮滿洲及び外國に運轉されて居る總額は二億圓であるが這回保證準備の擴張の事あり更に增資が斷行されるものとすれば近き將來に於て鮮銀の資本金は現在に倍增し四千萬圓內外に達するは明らかである、併し現今の如き財界の膨脹及び外國爲替事務の伸張せる時に於て二千萬圓位の資本金では到底滿足が出來ないのであると

◉貨物列車運轉變更

滿鐵會社にては當分の內大連瓦房店間、大石橋遼陽間、奉天鷄公主嶺間の貨物列車運轉を休止し遼陽撫順間、安東鷄冠山橋頭間橋頭奉天間に臨時貨物列車運轉を開始す

◉京畿畜產物產額

京畿道管內に於ける大正六年度の畜產物產額狀況を聞くに總價額百七萬八千九百三十四圓にて主要なる畜產物は牛皮、牛骨、牛脂、豚毛、豚脂、蜂蜜、蜜蠟、膠等にして主なる產地は牛皮は京城、水原、高陽、楊州、漣川地方にして牛骨は京城高陽坡州、仁川地方、牛脂は京城地方、豚毛は開城、漣川、坡州地方、蜂蜜は楊平、加平地方、蜜蠟は同じく楊平、加平地方膠は京城地方等也なりと

◉鐵、石炭需給に就て(一)

於鑛業會講演會　石渡信太郎氏講演

國家と鐵、石炭との關係＝我國に於ける鐵及び鐵鑛の需要供給＝我國に於ける石炭の需要供給

▲國家と鐵、石炭との關係　凡そ鑛產物の多寡は國の興廢存亡にも關するものである、私が七年前獨逸に在りし際或學者は『英國と獨逸との戰爭は到底避く可からざる狀態であるが、其勝敗を決するものは▲鐵と石炭で　ある、卽ち鐵と石炭の多い方が勝つ、然るに英國の採炭量は五年以前既に獨逸に劣り、鐵も將來獨逸の產額は英國を凌駕する見込確實である、否英本國の鐵鑛の量は我がミネットのみの鐵鑛量にだも及ばぬではないか、結局戰爭は獨逸が勝ちである』と云つたことを記憶して居るが、私は此を道理と聞いた、ミネットは一八七一年普佛戰爭の結果、獨逸の佛國より割讓せしめたオーバーシレシヤ州にあつて鐵鑛頗る豐富である、普佛戰爭の戰費は此の鐵鑛許りでも償はれるとさへ云はれて居る、私は獨逸が▲佛國と深怨　を結び而かも絕わず佛國の怨嗟を新たにする觀あるアルサス、ローレンを佛國に還附せざる理由の一つとして、右の兩州には鐵鑛が豐富なる爲めではあるまいかとも思ふ位である、一九一四年開戰の初に當りて獨逸は白耳義を席捲し、ルクセンブルグから佛國のムルテー、モゼール地方を侵略したが、自國は製鐵の盛んな國であるから、獨逸は軍略上の理由よりも寧ろ鐵を奪取したことを喜むで居るであらう、一方佛國の製鐵は一箇年五百萬噸であつて其九割は前述のムルテー、モゼール地方から出るのであるから佛國は其土地よりも、鐵を奪はれたるを苦痛として居る、尤も其後世界の大產鐵國たる▲北米合衆國　の參戰に依つて戰爭に必要なる鐵の供給は受くるを得ることゝ成つたが、去りながら佛國の損失は尋常でない、夫れから石炭も一國國勢の上に大なる關係を有するものであつて、佛國海軍の强大ならざるは同國に於ける石炭の缺乏が其要因であらうと信ずる、所要の石炭と鐵とを

◉中央市場條規案(三)

京城商業會議所研究案

第六條　本市場の收支は特別會計とす

近時東京及び阪神地方に於て一時公設市場を開くものあれども本市場の如く永久的の設備を計畫せるは先例として臺灣及び靑島の市場を擧げ得るのみ要するに京城に於ける新らしき試みとして愼重に審議すべきは論なき也會議所は此の試みをして京城府の一般會計より分離して市場會計を獨立せしむるの要あるを感ず何んとなれば市場經營の事業たるや

△確實に收益を　擧げ得べきに相違なきも損益斷定は豫め逆睹し難き一種の商行爲にして京城府の歲計豫算中に組み入れ難き事情を有す又た假令相當の收益を擧げ得たりとするも其の金額を他に流用せず他日市場改善又は市場に關聯する費途に使用するを可なりとす之れ一は府の財政に善惡となく影響を及ぼさゞる事を期し一は市場の安固を期する所以なり

第七條　本市場內に事務所、卸賣場小賣場廣場及び倉庫を置く

公設市場內に設備すべきもの、中必須のものと然らざるものとあり例へば商品陳列館の如き飲食店又は娛樂室の如き廣告場の如きは之を設くる時は其の有益なるは論を俟たずとするも必ず存在せざるべからざる底のものに非ず之れに反して

△事務所の如き　賣場の如きは市場の本體を構成する要素にして缺くべからざるの設備なりと而して京城の公設市場內に小賣場のみを設くべきか或は卸賣場を併存せしむべきかは市場の根本問題として議論の岐るゝ所なり洩れ聞く所に依れば現在京城府が設計せるは單に小賣市場に止まるが如し吾人は卸小賣の兩市場併存を主張するものにして其の理由は一は卸賣市場をして問屋仲買を陶汰し之を監督し以て市場の向上を計るに在り公設市場の目的を實現するには卸賣市場を設けて先づ右二事項を府の掌中に把握せざるべからざるを信ず卸賣場の外小賣場倉庫事務所の必要なるは自明の事にして敢て

△說明を要せず　之を規定すると規定せざるとに論なく必ず設備せざるべからざるが故に本條の如きは殆んど無用に屬する觀あれども卸賣市場に就いて疑義あるが故に之を解決する爲めに一箇條を置く必要あり卽ち此等も共に規定中に列擧して後段の各條に對應せしめたる所以なり

第二章　事務所

第八條　事務所は本市場の監督經營の任に當る

事務所は京城府廳內に置き專ら市場の經營及び其の監督の任に當る所のものなり市場の興廢は半ば事務所の手腕に存す而して市場の經營監督は事務所以外のものをして當らしむべからず京城府廳其れ自身と雖も容易に容喙せしめざるを要す何んとなれば事務所は單に市場の監察機關たるに止まらず場合によりては市場に關する市民の意思を代表して京城府廳に對抗せざるべからざる立場にあれば也而して府が市場事務所に市民の不利益となるべき指圖を爲すものとは考へ得られざれども由來官吏の觀念と一般觀念とは

△多少の相違を　見るを常とす事務所は此の兩者の中間に立ちて其の調和を計るべき立場にあるが故に茲に事務所なる獨立人格者を設け此の人格者を以つて專任の經營監督機關たらしむる所以なり經營とは市場の收支を司り[illegible]屋を建設し又は改良し貨物の蒐集を計る等を意味し監督とは取引行爲を正當平準ならしむる爲めに或は之を停止し又は禁止し又は市場の秩序を維持し或は淸潔整頓等を爲さしむる等を意味す

◉織物同業組合會

本月二十一日附を以て其筋より設立認可ありたる京城織物同業組合にては二十六日午後一時より恩賜授產京城機業場に於て創立集會を開催せるが金德昌氏の開會の辭に次ぎ事務の經過報告、七年度經費豫算決議、役員選擧、織物檢査規則の設定等を爲したり而して同組合長には牧山恩賜授產京城機業場長を推薦し織物規則の認可有り次第之れが檢査を實施し品質の改善を圖る筈なりと

◉古海中將催宴

古海憲兵隊司令官は廿七日午後七時より主計會議出席の爲め入京中の管下主計を主賓とし軍經理部長倉庫長及び總督府主計課長等を京城ホテルに招宴せり

◉立花師團長出張

第十九師團長立花中將は木浦、全州方面に於て擧行の第十九師團兵站演習統帥の爲め岡本參謀長、黑坂、山崎兩參謀、園田、大沼兩副官等を隨へ二十八日朝龍山發列車にて木浦方面に出張六月一日歸任の筈

◉市川參謀長出張

市川軍參謀長は二十八日より木浦全州方面に於て擧行さるべき第十九師團兵站演習見學の爲め高橋工兵大尉を隨へ二十八日朝龍山發列車にて木浦に出張六月四日歸任の筈

◉久保局長歸任

本社と事務打合の爲め大連に出張中なりし久保滿鐵京城管理局長は二十七日朝南大門著列車にて歸任せり

◉山本唯三郎氏入京

松昌洋行社長山本唯三郎氏は過般來滿洲旅行中のところ二十七日朝入京天眞樓に投宿せり氏は四五日滯在視察其他の要務を遂げる筈なりし處急用生じたる爲め廿九日朝出發歸東す可しと

◉和田總務課長出張

土地調査局總務課長和田一郎氏は土地連絡圖調製事務其の他に關する調査囑託に應ずる爲め二十五日北海道管內及び東京に出張を命ぜられたり

◉百三十京城支店長更迭

百三十銀行京城支店長河井松之助氏は今回本店詰となり後任は釜山支店長彭山省二氏と決定したるが河井氏は來月初旬出發赴任の由

◉鑛業會評議員中削除

廿六日夕刊所載鑛業會評議員中より齋藤新太郎氏を削除す

【晉州】

▲主一銀行併合問題　過般許可の指令ありし主一銀行は泗川、晉州に支店設置の筈なるが發起人間にて慶南銀行と併合し資本金一百萬圓とするの議進み居れり▲慶南金融組合統一　慶尙南道には現在各郡に一箇所づゝの金融組合ありしも監督上困難にて且つ管內にて新設銀行續出する傾向あるを以て晉州金融組合の資金を增加し同組合へ管內金融組合の監督をなさしむる事となるべしと▲郵便所長會議　晉州近郡の郵便所十四所長は新任神田釜山郵便局長の來晉を出迎へるため晉州に集りしを以て晉州郵便局にて一同會合し神田局長の訓示あり七時より望月亭にて懇親會を開催せり▲庶務主任懇親會　來晉中の各郡庶務主任は二十三日望月亭にて懇親會を催せり

賦呈瑞洲將軍　九州　權藤四郎介

關外將軍鬢欲斑。壯心尙未夢家山。戍兵閑去征鞍上。一路薰風題句還。

次韻　瑞洲　立花小一郎

征衣猶見酒痕斑。堪笑當年氣若山。老去風懷未勝謔。倚鞍顧望思詩還。

人事消息

▲セーエー少佐(北京佛公使館附一行七名)二十七日朝釜山へ
▲ブリホシヤ氏(白國領事)廿六日夜滿洲へ
▲渡邊勝三郎氏(三河鐵道專務)二十六日夜釜山より入京
▲岡田榮氏(代議士)二十六日夜歸京
▲西原龜三氏　同入京
▲牧山耕藏氏(代議士)二十七日夜內地より歸京
▲宮地大尉(師團副官)二十六日夜發平壤へ
▲富田儀作氏(實業家)廿七日朝入京浦尾へ
▲河本茂登氏(釜山慈惠醫院長)▲松本盤正氏(大邱同)▲石森文七氏(公州同)▲秋田彰彦氏(全州同)▲奈良信三郎(群山同)▲市川長次郎氏(羅州同)▲[illegible]太郎氏(平壤同)[illegible]廿七日朝浦尾へ
▲中井松衛門氏(東亞煙草社員)同上▲上田[illegible]次氏　同上

◆大正水利竣工式行　雨の夜汽車

新義州にて　一記者

▼二十五日午後九時四十分南大門驛を發する奉天行きの列車には京城邊にその以東から大正水利組合の竣工式に列席しやうとする[illegible]氏約五十名許りが乘り込んで可なり[illegible]役人側は坂出技師、荻田局長、青木[illegible]課長等の顏振れ、實業家側は[illegible]關屋東拓土木課長、新井[illegible]ツールプレス、大垣京通の諸氏が主なる[illegible]ある

▼その中でいくらか物淋ひの客と思はれ[illegible]のは朝鮮ホテルの猪原マネージャーである[illegible]その低い圓つこい身體とニコ〳〵した顏[illegible]此日から開業する夜行列車食堂[illegible]督のため來てゐるのかと大抵な人は思つて[illegible]たが、さうでない、某が猪原氏を捉へて[illegible]しがると『イヤ同じ水商賣同志ですから何か[illegible]なくちや』と云ふ答へ、蓋し水利組合[illegible]旅館も所謂水商賣だと云ふ事を洒落[illegible]ものらしい

▼汽車の出る頃から細い雨がポツ〳〵落[illegible]て、イヤにむしあつかつた、然し何人も[illegible]の雨は短いに極つてゐる、明日は上るだら[illegible]きめてゐた、で天候の前途を心配して[illegible]のは[illegible]位のものであつたかも知れぬ、車中のザワ〳〵が一[illegible]靜まると、夜行列車初食堂に飛び込んで[illegible]トルを上げてゐる人も仲々多かつた[illegible]

▼途中の騷ぎまつたのは彼是一時頃であ[illegible]たらう。その前後から初夏の夜の雨は[illegible]い勢ひで降つて居た、列車の走る音は可な[illegible]高いものだが、猛烈な雨聲はその進行の[illegible]たる音響をも時には全く包み終る位であつ[illegible]

▼翌れば、廿六日の午前六時頃から[illegible]ボツ〳〵起きて『困つた雨だ』さかう[illegible]皆ひ合つて居る、唯水利組合の[illegible]君など[illegible]止みます〳〵と東空から大空を見てゐ[illegible]が、深い雨雲は到底消散しさうにもない[illegible]已ならず烈しい風が出たらしく線路に[illegible]た立木の揺れ方は尋常でない、所々雨に加[illegible]に暴風、コレでは所詮批峴の停車場から式[illegible]里もある式場に行けさうにもない、人[illegible]く迷ひ出した、[illegible]新義州行か[illegible]說く人、主人側任せだと云ふ人々[illegible]

▼下車の豫定驛たる批峴の一つ前の[illegible]場に組合長の藤井氏が見えてゐて、今日の式[illegible]路下り[illegible]明日の式は中止、一行は[illegible]の儘新義州に直行し晴れを待たうと云ふ事に[illegible]決つた、藤井氏はいかにも雨天を殘念さうに[illegible]面持で車中をアチコチ挨拶して廻る、雨で[illegible]も出發を見合はされたと云ふ話がある、外[illegible]雨—盛んな雨である

▼十時四十分新義州著、[illegible]雨の中を[illegible]に向ふ、記者は久し振りに敏捷な支那人[illegible]の行動を見て小やかましい支那語を耳に[illegible]て、鮮滿國境に來てゐると云ふ感を今更の[illegible]うに思ふ、[illegible]では水路下りの船中に[illegible]ゆる[illegible]が膳の上に出されて盛宴が催されて[illegible]工藤平南技師、[illegible]坂田技師[illegible]旅館を初め六七十人の列席があつた

▼雨と風は午後に入つても止まぬ明日も[illegible]うするかと云ふ事が席上の問題である、明[illegible]降つてもヤレと云ふ忙しい人があり[illegible]まで待たうと云ふ氣長の人があり、樂觀[illegible]悲觀さしてゐる、然し明日は多分止むだらう[illegible]止めば水路を批峴から船で下つて式を[illegible]しさと云ふに傾きかけてはゐる、(二十六日[illegible]四時認たむ)

海軍記念日紙上講演

◎戰勝の日

龍山　涙光

明治卅有七年如月、東洋の天地は風雲渦を卷いて平和の夢は醒された、その間を御稜威の旗は陸に海に砲煙彈雨の下をくゞりて連戰連勝其に旭日昇天の勢である、暴惡無禮な大敵たりとも何のその、岩をも通す忠義の二字はわが日の本の兵士が五尺の身體に充滿して居るのはもとより、今は手足も自由にならぬ國に殘つた老爺老媼が戰勝の號外を片手に、愛兒愛孫の名譽の戰死の電報片手に、老いたる兩眼からは無量の感涙をこらへて齒も無き口に『天皇陛下萬歲……』と叫べば日本帝國萬歲……』山間の一小村落の小學生まで

『打てやこらせや×××國を』と唄ひつゞけるといふ樣にわが七千萬の同胞が神かけて必勝を祈つて居る時。……○

○此處は山陰道の日本海に面した出雲の大社を離れて二里ばかり戶數三百足らずの小漁村がある。その荒磯の荒浪にはぐゝみ育てられた一人の壯者があつて、黑鐵の如きその姿、鬼をも恐れぬその輝ける瞳、彼の頭の先きから足の爪先までには燃ゆるが如く熱烈な愛國の血潮が溢れてゐた東洋の風雲急を告げるをきくや直に海軍に志願して程なく若いこの漁夫は海兵團に入るべき身となつた。

◇處がこの若者は幼くして慈母を失ひたる後は專ら老いたる父の男手一つで育て上げられたのであつた、そしてその父はもう早七十の坂を越えてとても荒磯の仕事には堪へられない身體であつた――若い漁夫に今心にかゝるはその老父のことであつたいよ〳〵入團のその前夜、薄暗い漁家のカンテラの元で――

◇『父さん、俺や行くんだが不孝者だと恨んで呉れるな、俺あ五尺の身體の、この五尺の身體、血がわきかへるやうだ』その聲にはわきかへる血潮の眞紅な色が見ゐるやうであつた。

◇老爺は目をしばだゝいて――『われ、何で恨んで濟むものかい、俺のやうな文盲な者が、敵の奴に一矢でもあてゝ呉れるわれの親かと思ふと勿體なうて〳〵……われ行け、そして死んで戻るんだぞ……』

◇その聲は悲痛であつた淡い灯のかげに涙が光つてゐる。

×　×　×　×

開戰以來一年と三月、連敗の運命を回復せんと露國の太平洋第二第三艦隊は朝鮮海峽を經て浦潮に向ふといふのであつた我海軍も秘密裡に朝鮮海峽に全力を集め今や遲しと敵の來るのを待ちかまゐた。

◇五月廿七日午前四時四十五分哨艦信濃丸から『敵艦見ゆ』の報が傳へられた、我東鄉司令長官は全軍に出動を命じ、先づ小軍艦をして敵艦隊を沖島附近に誘ひ寄せしめ、一方『皇國の興廢此の一戰に在り各員一層奮勵努力せよ』の信號旗が戰鬪旗と共に旗艦三笠にかゝげられ明け行く空に輝いた、各艦の將卒は熱狂した。

◇午後一時五十五分戰陣は敷かれた、敵の先頭部隊はあわてふためいて砲火を切る、我艦隊は堂々として僅かに距離六千メートルに近づくや始めて之に應戰した。

◇砲煙天地に震動し風叫び海怒り波浪は山の如きうちに勇敢なる我砲手の打出す砲彈は面白きまで命中して暗々たる海上は敵の紅で火災で火焰海を蔽いてその樣言語に絕し、四分五裂に散り行く敵を追ひては打ち、打ちては燒き、追ひては打ち沈めたのであつた。

◇明くれば廿八日天清く晴れて蒼波靜か卅八隻の敵艦の大部分は擊沈または火災をおこして自ら沈みこゝにニコライ一世以下四隻の戰艦は白旗を立てゝ降伏し實に一萬六百餘人を捕虜となし世界歷史の上に光輝ある一頁を彩つた――この戰ひの一員に彼の漁師の息子の居た事は勿論である。

×　×　×　×

出雲の一小漁村でこの戰勝を聞いた彼の老爺は二箇月ばかり前から病の床をけつて立ち上つた、そして老の病の力なくもヨロ〳〵とする足を踏みしめ踏みしめ、小丘の鎭守の森へたどりついてあへぎあへぎ鳥居の下に『われ、打つて呉れたか、偉い奴ぢや、偉い奴ぢや』と涙が蒼白い頰を流れる、そして狂氣のやうに泣いたり笑つたりした。

◇『萬歲　天皇陛下萬歲……』やがてその聲は次第々々に低く遂には消ゑていつた。……その戰勝祝賀の提灯行列の村人が鎭守へ集つた時、この老爺は笑をふくんで冷たくなつていた。

◇全國民老いも若きも斯ふした誠の心とそして實に血と涙を以つて世界の戰史に永久の光彩あらしめた今日の記念の日は殘されたのである。

◎鎭海の海軍記念日

廿七日の鎭海々軍記念日は午後零時より鎭海要港部水交社にて祝宴催され招待されたる官民百餘名餘興には相撲、運動會等あり猶ほ市民の祝賀會あり非常の賑ひを呈したり（鎭海特電）

◎龍田進水 廿九日佐世保にて

閑院宮殿下台臨あるべし

二十九日佐世保海軍工廠にて新艦龍田の進水式を閑院宮殿下台臨の下に進水式を行ふべしと（佐世保電報）

◎春日離礁 自力航行にて新嘉坡に入港

蘭領印度沿岸に坐礁せし帝國軍艦春日は十五日午後十時四十二分離礁し自力航行にて二十五日無事新嘉坡に入港せり（東京電報）

◎大阪商船 第三線開始

＝瓜哇カルカツタ間

大阪商船第三線瓜哇カルカツタ線は六月下旬に入り安南、朝鮮丸二隻を以て開始の筈也（大阪特電）

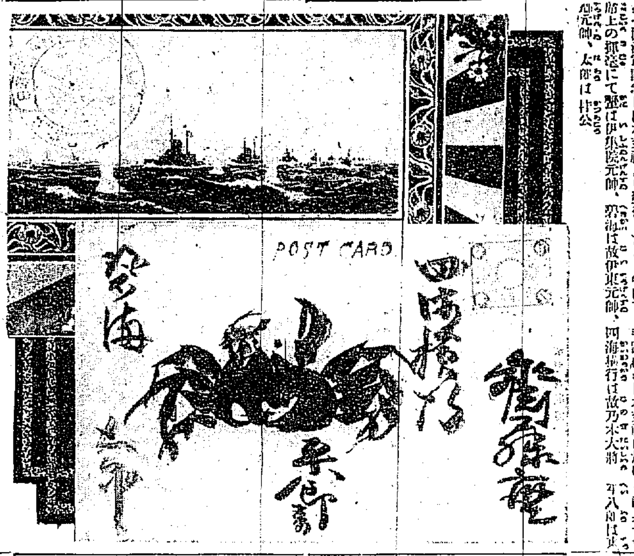
◎南海電車衝突 乘客五名負傷

南海電車阪堺線は二十六日午後五時車掌が轉手を落したる爲それを拾はんと停車中後方より驀進し來りたる貨車衝突して乘員五名負傷せり（大阪特電）

大阪期米　十二錢と二錢安に寄付二十一錢と……二十七日の七月限……

記念繪葉書と五將軍の手蹟

繪葉書は明治三十九年五月廿七日第一回海軍記念日に水交社より發行したるものにて、手蹟は日本海海戰に於ける祝賀會席上の揮毫にて……元帥、……元帥、……大將、……元帥、太郎は桂公



◎先帝七週忌 御法會勤修

南山本願寺に於ては今年明治天皇七週忌に相當するを以て二十八日午後一時御法會を勤修し了つて入京中の文學博士井上圓了氏の講演あり多數の參會を希望すと

▲參會案內　右に就て長谷川總督山縣政務總監を始め官民の重なる人々へ夫れ〳〵案內狀を發したりと

◎阿部讓氏逝く 桑港にて壓死す

朝鮮銀行主事阿部讓氏は倫敦派遣を命せられ本月十日橫濱出帆英國へ向ふ途中桑港のホテルに於て昇降機の下敷となり終に壓死せりとの報あり（東京電報）

◎名古屋電鐵椿事

二十六日午後名古屋瀨戶電鐵脫線車體橫に倒れて乘客四名負傷（名古屋電報）

◎朝鮮婦人 ＝廿五名溺死

全南康津郡七良面沖合に於て二十四日一隻の小舟顚覆し乘込み中なりし朝鮮人の女二十五名溺死したる由全羅南道警務部より警務總監部へ入電ありたり因みに同地方は目下蛤及び海藻の採取季とて多分夫れ等に從業の女が乘れる小舟の覆沒したるものならんと

◎平安丸 虛電事件 發信人搜索中

既報朝鮮郵船會社汽船平安丸爆沈の虛報について右打電行爲には犯罪潜伏せるやと計り難ければ警務總監部にても目下極力發信人を搜索中なり右行爲に就き世說には或は鮮郵株を下落せしむべき奸手段なるべしと云ふものあれど朝郵株は此際此の如き事にて動搖すべきものにあらざる事は所謂株屋と雖も知れる所なれば之にあらざるものなりと信ず乃ち現今內地に於ける大豆及び豆糟が品下りしつゝあれば平安丸が浦鹽より大豆及び豆糟を滿載して阪神に運送する時はより以上の下落を見るに至るべきを豫想したる大豆及び豆糟商人の奸手段にはあらざるかと若し之とすれば此の虛電が浦鹽より敦賀某所に入電ありたりとは之亦疑問にて恐らく內地商人が僞電をもつて新聞社及び其他報道機關を奸用したる者なるべし

◎全州遊廓擴張

全州遊廓地を對岸に擴張し鮮人營業を收容する警務部令發布さるゝ筈也（全州特電）

◎金物泥棒 荷車で運搬す 一名捕縛

京城蓬萊町三丁目金敬文（三七）は以前古物行商を營業しゐたりしが同町の李千石と共謀し、昨年十一月頃より住所もなく乞食などをなし其の日を暮せる成千萬（一九）金壽福（二〇）金昌來（二一）金貫龍（一九）朴龍來（一七）などいふ前科附の浮浪者を手先に使ひ深夜荷車數臺をもつて府內大門驛構內機關庫を初め、蓬萊町一丁目東亞鐵工所、南大門通四丁目竹川古金屋、同五丁目中根金物店、同岡崎町中根鐵工場、蓬萊町二丁目二宮鐵工所等に各三四回忍び込み軒下に置きある古鐵、銅、眞鍮金具類、土運車の車輪等手當り次第の金物類を一回に數十貫以上を窃取し大ビラに

▽荷車に　て大部分を蓬萊町三丁目の古物商李應植（五二）方に持ち運びたるものにて其の總價額一千四百餘圓に達し居れるが李應植は時價二百五十圓位のものに對して五圓許りづゝにて故買し其の都度買收したる金物類は土中深く埋沒し徐ろに更に他の內鮮人古物商に轉賣して

▽巨利を　博しゐたりしが其の他同町の古物屋宋德任（六七）宋龍瑞（三二）閔丙斗（三二）等も幾分宛故買しゐたること發覺し泥棒側の主魁なる金敬文以下六名と故買側なる李應植外三名合計十一名は此の程本町警察署の手に逮捕され嚴重取調べの結果彼等は前記各鐵工所外に市中道路の溝蓋となしある

▽鐵板を　夥しく窃取したる旨自白したるより李應植方より出たる鐵類を發見押收せしも運搬に持て餘す程なりしと▲而して彼等小鼠泥の輩は平素空家に起臥して焚火等をなすこともあり物騷千萬なる野性的の浮浪者なりと

◎衆目を惹いた珍品

京城美術研究會は二十六日午後昌慶苑にて例會を催したることは既報の如くなるが當日各會員が持ち寄りたる數ある書畫骨董の中殊に珍中の珍として人目を惹きたるものは▲浦和亭雪蕉圖（末松熊彥氏）▲滿人蕉乘貞鴉雜浮仙圖（山口貞昌氏）▲吳大澂筆秋京川水（成田三亥氏）▲田綺壽月夜笑林（成田忠良氏）▲何曾漁印譜（大石南山氏）▲李俊吉筆金剛山圖（黑崎美智雄氏）▲支那佛（滿洲石佛寺に於て發見せしもの、河野康平氏）▲柴田是眞筆人物（前田昇氏）

圖愛の力か黃金の力か

天勝一行の新社會劇愛の力か黃金の力か　二十八日夜より黃金館に上演

圖黃金の力が無上の權威とならうとするけれども愛の力は何物にも勝れて强いものであるといふ事を示したのが、此劇の主題なのである。

圖倫敦の富豪として時めいて居る、ウオルターは黃金の力に醉つて曾つては畵家のフランクとその愛を爭ふた美しい妻のメリーも、今では富に醉ふたウオルターの一顧にも値せぬ者となつて了つた

圖今宵しもメリーは久振りで夫のウオルターと一緒にオペラ見物に行かうと、樂しげに夫の部屋へ行くと、ウオルターは冷酷極まる態度で、自分の愛も魂も總て富の祭壇に捧げて了つた、自分の居は富より放す事は出來ぬと告げてメリーとのオペラ見物を斷つて了ふたので、メリーは悲しい胸を抱いて、獨り淋しくオペラへ出懸ける（第一場）

圖後へ殘つたウオルターは、今夜のオペラに以前メリーの愛を爭ふた青年畵家のフランクが一緒だといふ事が、幾何か心懸りであつた、軈てウオルターは椅子へ假寢をすると、メリーとフランクが歸つて來て、フランクの火のやうに熱烈な戀の囁に動されたメリーは、冷酷な夫を捨てゝ二人で逃げやうと相談してゐるので、ウオルターが見て、嫉妬の爲めに逆うフランクを殺して了ふといふ怖い夢を見て心を惱ます（第二場）

圖其所へ恰度歸つて來たメリーに、怖しい夢から喚び醒されて、ウオルターも今更のやうに愛の力の强大なのを覺る（第三場、幕）といふがその梗概である。

灯ともし頃

▲目下入京中の井上博士の名刺の裏を見ると『我すきは豆腐味噌汁香のもの、さはいへ何んでも人のくふもの』『我すかぬものは間食ばかりなり、お茶の外には酒飮もせぬ』と我飯は朝は大抵一膳、晝は小盛で每度一碗半……

諸君文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

◎曹洞宗別院（若草町）二十八日午後一時より……

◎川柳題「夏羽織」

○夏羽織著て品のよい居候（一等）　城仰成町三　角　戀坊

▲……　仁川　詩　腕

▲……　利川　源光　生

▲夜中までも遊き廻り　平壤　不孤　生

盆栽と生花（二）

▽五月美しき生花室

……主催初夏の展覽會の一部として清々しくも色美しき五月の花を一堂に咲かしたる艷やかさ！階上の人工の粹を集めたるに綺羅美やかさを茲には自然の靜かなる美の姿に雪崩れ入る入場者を留まらし、樂しませてゐた。杜若のいと高き色には露美しく、ひば、白檀の新綠の艷やかに、大閾の若き葉のしやかに、さては鈴掛に、根じめの初夏の草花に、池の坊大日本總華……正面席大粉後藤秀庭氏をはじめ、幹事江連內秀心、角田秀山、鈴木秀略、豐原秀芳、山口秀心、添田秀志、松山秀史、內田翠香、木村秀睦氏以下の在京城の夫人令孃の丹精になる六十餘點の生花、盛花の陳列に入場者の嘆賞の瞳を動かしめ、そのさゝやきを咨むものはなかつた

商況

兵庫期米　二十五日前場……

大阪三品特電

大阪期米特電　二十七、前……

下關期米特電　二十七日前場……

雜報

◎綿糸布は氣丈　大阪三品は米綿……

四五圓方を引返

現物……

綿布、龍レート圓八十五錢

◎正米は底强し　正米は非々賣物ありと雖も……

高の見當にて……二十錢

◎砂糖在荷豐富

◎內地製粉保合

◎大豆は買萌す

一部の買進を誘致

▲本龍山の十四圓二十錢乃至十四圓四十錢

◎石油値上げ

十錢方の値上

◎精白米競爭安

鮮白……二十錢高

採算を切詰むる處迄

賣競……方を下押し……十

下關相場

▲朝鮮米も變らず……

釜山穀物（廿六日）

仁川正米

南大門の廻穀

▲正米二十錢高……

強硬の成行を示し二十錢丁度

▲正米高を傳へ……

買方に多少の警戒

仁川期米　二十七日前場（昂騰）

大阪天候曇天二十七錢大上放

先二十二圓二十錢と十七錢高

寄付……

生魚市場

仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎　電話……

仁川米豆取引所仲買人　廣澤正次郎

仁川米豆取引所仲買人　田中金兵衞商店

市場雜觀

仁川取引所　二十七日の七月限

三日間の賣買高

當地警察署より……

取組高も取調べ……

調べたる……

各地商況

◎群山正米（二十五日）……

仲買店

仁川期米
大阪前止め二十五圓六十錢後寄未者にて當中出來不申先二十一圓八
仁川米豆取引所
連絡船上陸客　二十六日

泗川新寨の古戰蹟（三）
武勳赫々たる修驗者の壯烈なる最期
海軍中將　東鄕吉太郎氏談

文祿慶長の役、島津義弘が僅々三千の手兵を率ゐて慶南泗川新寨に籠城し明軍二十萬に包圍せられたる時城內より修驗者佐竹光明坊が單身敵軍中に突進し敵の火藥庫を爆破せしめ遂に敵を擊攘し得たりさいふ所までを述べたるものなり

子孫稻荷明神社の
◆社掌となりて今日に至る◆

然るに島津家に於ては此勇士を如何に待遇されしかと云ふと夫れは鄭重なもので山伏でありし佐竹の子孫を士分に取り立て特に祿を給せられ胡麻所の稻荷社の社守りとせられた子々孫々傳へて明治の時代に至つたのである即ち佐竹稻荷を佐竹の子孫が守つてゐたとは佐竹氏の書類に依りて分る此泗川新寨戰に關係を有する稻荷明神の加護に因る今此處の後口の稻荷社は立てられたと云ふとである即ち伏見の稻荷に請ひて玆に移されたと云ふのである泗川城址には無くてならぬ明神社である夫れで御食津神の分社として五穀豐饒を祈るを主とし又從として佐竹次郎左衞門なる勇士の靈魂を祀つては土地柄として適當のこと信ず猶ほ今回外に碑を二個立てた即ち

慶長役陣亡者之碑
◆唐兵戰歿者の二である◆

泗川方面に於て戰死したるものは故郷の戰ひ即ち今の泗川なり玆に泗八十人其の內相良玄蕃の屍體は後に收容が出來ました新寨戰にても市來清十郎、瀨戸口彌七、佐竹次郎右衞門外一名都合四人あり其他に順天の小西行長のところに使し敷根鎌田の兩人は途中にて難船して死し敷根を泗川城側に葬るとあり泗川城は泗川新城即ち此地のことなり當地の口碑に此南側を陵と云ひますので先づ玆に葬つたるものと判定して玆に碑を立てた次第である

滿洲の奧地に
鑛山は有つても
◇掘出す事が出來ない◇

最近安東縣下鴨綠江上流を仔細に踏査して歸りたる某鑛山技師の談左の如し（安東縣）

◆滿洲に於ける鑛山は決して尠くはない、が日本人が入り込んでから未だ新らしい鑛山、誰も手を著けない鑛山を發見した事はないと云ふて宜しい、何故なれば日本の警察の威力の行はれてゐる地方は安全で綿密な探鑛も出來るが、其れ以外の地方では安心して旅行され出來ない＝勿論護證は所持して居ても＝であるから照住などは思ひも依らないとである

◆斯な仕末では誰も危險を犯してまで奧地に入る事を好まない、それで滿洲の鑛業なるものは非常に著目さし有望の如く稱せられてゐるに拘らず今日迄殆んど見るに足るべきものはなく新發見の鑛山がないのである

◆而して現在あるものは既に支那人が往古に掘り散らしたもの、稍で大なるものは既に大なる規模の下に大資本家の經營に移り小なるものも夫れ〴〵全部が納まる所へ納まつてゐるから將來は是非とも新鑛山の發見と經營とに力を注がなければならない

◆處で最近鴨綠江を溯江して臨江の帽兒山乃ち朝鮮の中江鎭を過ぎ尙ほ遙かに溯つて見たが此の方面は前述の如く匪賊の橫行が甚だしいので到底綿密な調査など出來ない

◆一寸步るいても今馬賊が出た處だとか昨日は人質を何人拉し去られたとかで雜つと見た處では此の方面は未だ日本人が手を著けないのみならず支那人も放擲して居た所とて相當に調査の方法を以て調查すれば極めて有望だらうと思ふ

◆殊に彼の咸鏡道の久原の甲山鑛山の餘脈が走つてゐるに相違ないから中江鎭以東の咸鏡道との國界境方面及會寧吉林間の鐵道が敷設される豫定線地方は極めて有望だらうと思ふ

◆此の意味に於て會寧吉林間の鐵道は一日も速かに著手され竣工されん事を望む、單に軍事上貿易上の意味でなく本鐵道が竣工されたならば滿洲の鑛業は初めて新面目を呈するであらう又鴨綠江豆滿江沿岸も今少し何とかせねば其の一帶の開發も展も如何がはしいものだと思ふ

巡廻お伽講演開始

本社は地方愛讀者の御愛顧に酬ゆる爲め今回本社講演部龍山涙光氏を各地に派遣し巡回お伽講演を開始する事となりました先づ左記の日割によつて京釜線湖南線から始めることゝなりました少年少女達は申すに及ばずお父さんもお母さんもお爺さんもお婆さんもお聽き下さい入場料は無論有志の金品等寄贈は一切受けません

巡回お伽講演日割

―（京釜線）―
▲水原　六月三日（正午十二時より午後三時まで）
▲鳥致院　六月四日（午前九時より同十一時まで）
▲淸州　同日（午後より）
▲大田　六月五日（午前九時より同十一時まで）
▲永同　六月六日（午後二時より同五時まで）
▲金泉　六月七日（午前九時より正午十二時まで）
▲大邱　六月八日（同）
▲釜山　六月九日（午前十時より）

―（湖南線）―
▲馬山　六月十日（午前十時より）
▲晋州　六月十一日（同）
▲江景　六月十三日（午前十時より正午十二時迄）
▲裡里　六月十四日（同）
▲全州　六月十五日（同）
▲井邑　六月十六日（同）
▲光州　六月十七日（同）
▲榮山浦　六月十八日（同）
▲木浦　六月十九日（同）
▲群山　六月二十日（午後より）
▲公州　六月廿一日（午後より）

愛讀者に酬ゆる爲

農況
慶北は平年以上
＝麥作

慶尙北道に於ける麥の年產額は五萬石にして全鮮十三道の約六分の一を占め居れるが之等の麥は其大部分は農民の食料となり道外に搬出せらるゝものは其の一部に過ぎず而して彼等農民は此の麥を以て夏の食料と爲すものにして夏季に於ける食料の多くは則ち農民の生產力に影響を及ぼすものなれば慶尙北道にありては實に米に次で最も大切なる農產物なり然るに慶尙北道に於ける本年の麥作狀況を見るに秋蒔に在りては昨年十一月より本年二月に渉り降雨極めて稀なりし爲め其の發育狀態赤頗る不良にして道の北部即ち山間部の一部には殆ど枯死に瀕せるもの見受けられたるが三月初旬に至り適當の降雨ありたる爲め大に面目を一新し更に五月初旬及中旬に於て屢々降雨ありたるを以て目下の處安東榮州地方の山間部に在りても發育狀態頗る良好にして殊に谷間に於ては三月初旬に雨量分配狀態適當なりしと四五月に於ける降雨とに依り著なる發育を爲し居れり而して慶北にては例年四五月の頃一般に降雨尠なきを常とせるに本年は例に無き降雨を見たる爲濕潤の地に在りては却て發育に害を及ぼさざるやを疑はしめたる程にて從て南北共に作柄良好にして一般農民に在りては頗る喜悅の態なるが道當局に調査せる處に依るも今後氣候の順調を得ば平年作即ち百五萬石以上の收穫を得る見込にて從て之に依り本年に於ける米價調節の一助となるを得べし（大邱）

間島より更らに
第二回觀光團
◆今秋の計畫…希望者多し◆

本秋間島より第二回の觀光團を京城に送る計畫あり鈴木領事は之が組織に就き盡力し居れるが目下の所にては約二百名の加入希望者ありて見込にて其中二十名は京城より更に內地觀光團に加はる豫定なりと數年前までは排日鮮人の巢窟と目せられ居たる間島地方は民心日に平穩にして母國の文物を視察せんとするもの漸く多きを加へんとするに至れるは洵に好現象と云ふべし（清津）

間島と稻作

間島農產界にありて收穫と共に輸出の大宗たるべきは粟にして其產額大なり然るに近來水田の經營は著しく發達し到る所鷄野流域の灌漑を應用し苟も水利に適する部面は水田に變化せんとする傾向あり斯く水田經營に一新面を開かんとするは移住鮮人の多數が農耕者たる以上當然起るべき現象にして比較的灌漑の便に富む間島にありては將來益々稻作の發達疑を容れず而して其屈强なる理由は第一義として他の作物に比し有利なるにあるは勿論なるも一は南鮮移住者の食料要求其先驅を做したるものとす何となれば元山以北の移住鮮人は素より粟を常食とするが故に粟の潤澤なる間島にありては更らに食料に不足を感ずることなしと雖も元山以南の移住者にありては然らず米食に事を缺くは南鮮人の最も苦痛とする所なるを以て南鮮人の移住農加はると共に水田は之れに伴ひ所在增加の傾向を發し相俟つて著しき收穫を增すに至りたるものにて在間島邦人間にありても高價なる輸入鮮米を避け間島產米を食むもの少からず該間島協約によれば移住鮮人は米穀を輸出することを得とありて間島米の輸出必ずしも不可能にあらざれば他日水田の發達と共に輸出物資に伍して相當の位置を占むるやも保すべからずと說くものあり（間島）

蠶況
＝慶北

本年度慶尙北道に於て購入配布したる桑苗は道配布數（朝鮮產）五一、三〇〇本、當業者購入數（朝鮮產）三、六八三、〇三一本（內地產）五四一、五〇〇本 計四、二二四、五三一本 合計（內地產）五四一、五〇〇（朝鮮產）三、七三四、三三一本、總計四百二十七萬五千八百三十一本 蠶種 道配布數（朝鮮產）一、〇七五枚（內地產）二六八枚 計一、三四三枚 當業者購入（朝鮮產）四二、六一〇（內地產）二一、〇四〇枚 計六三、六五〇枚 合計（朝鮮產）四三、六八五枚（內地產）二一、三〇八枚 總計六萬四千九百九十三枚內に蠶種不良 調製當時は全部分附に非ず尙未だ購入するものあるが故に今後多少增加する見込也

本年の流筏

從來降雨多く流筏者に取り木材業者に取りては極めて好都合なるが今其消息通の談によれば本年著筏數の豫想は昨年奧地にて遂に流下し得ざりしものもあるのみならず本年度の伐採成績も先づ大局に於て良好なるもの、如ければ後者を合すれば昨年に比し大に增大すべき模樣なるが目下營林廠採木公司等の證明せるが如く前者は八十萬尺後者は其の三倍內外なるべしと稱せるも到底紋上の素材は見るに困難なるべく先づ新義州側に於て約五十萬尺緬安東に於て百五十萬尺總合計二百萬尺稍內外なるべしと（安東縣）

朝鮮で見られぬ
柳絮の吹雪
森より野に川に
紛として亂飛ぶ風情は
滿洲に於ける晩春の一奇觀

楊柳たる柳絮（大連公園にて）

滿洲の春より夏に飛ぶ柳絮は特有の趣きあり降雪柳絮の如しとは內地人もよく云ふ言葉なるが支那に來りて實際に柳絮飛行の樣を見ざれば雪、柳絮し如しの眞の意味は解する事能はず、春の名殘り青葉に隱れて逝く滿洲の此の頃こそは柳絮の雪に吹かるゝ時なり森より林より並木より飛び散る絮は或は輕く漂ひ或は亂れて巴の如くめぐり或は流れて吹雪の如く疾く走り又地に落ち降り積み吹き溜まりて雪の如く行人の衣袂に積りて拂へども拂へども忽ち白くなる綿降雪の異らず殊に五月のいとよく晴れたる空に雪の如くに霏々として飛び狂ふさま誠に滿洲に於ける一美觀たるを失はず（大連）

滿洲には此頃
按摩成金ができた
◆一箇月收入百五十圓◆

長春の按摩賃は上下一回（一時間）が一圓であつて而かも長春に四人しかゐないから中々の繁昌で一日平均五六回の揉療治をして一日五圓としても一箇月百五十圓一箇年に千八百圓であるから立派な商賣であるが官と肩を並べる程の收入がある尤も規定は上下五十錢より七十錢迄であるが其の實一回一圓の料金を取つてゐるとは豁く（長春）

牛を飼たら
◆どの位の利益があるか◆

平安南道は最近畜牛の收支計算につき調査をなしたるが一箇年間一頭の成牛と一頭の犢を飼養して純益八十五圓六十三錢を得る計算なりと今其の詳細を聞くに生牛一箇年の勞銀百四十圓五十錢廐肥代二十九圓二十錢預託せし牡犢の勞銀二圓合計百七十一圓七十錢の收入に對し一箇年間飼料代成牛四十八圓五十五錢犢十二圓五十一錢五厘燃料五圓四十錢敷料十五圓四十錢五厘廐舍其の他器具修繕費三圓十錢二回分及び治療費一圓畜產組合費二十錢合計八十六圓〇七錢を差引純益八十五圓六十三錢といふ勘定なりと（平壤）

二つ共立消か
◆安東縣の新劇場とホテル◆

◆ホテル　一時盛んに噂されし市中有力者有志者等の會合協議を重ねたる安東ホテル建設の議は其の何等の發展を見ず今や殆んど立消の狀態なるが太陽樓主船津氏は是非共此の際建築を行ひたき希望を有するもの、如ければ滿鐵側にて果して所用の資金を融通し呉るゝや否や疑問の由なればホテル建設も從つて疑問なるべしと

◆新劇場　安東縣京橋座主猪俣氏外一二名にて劇場新築の議進捗し既に其の敷地まで選定を終り建築に取掛るべき時ありしも其の後建築費用の出所其の他の作にて行惱み目下中止の姿なりと（安東縣）

新案の貯蓄組合
◆民風改善記念の貯蓄組合◆

平壤には今度大工共同貯蓄組合といふものを組織し存立期限を二十箇年として其の筋に出願した又平南江西郡班石面には市日貯蓄組合といふが出來たが何れも其の名の如く大した風變りでも無いが平南陽德郡の大倫面に出來たのは民風改善記念貯蓄組合といふ名稱で之を定期と臨時と現物との三種に分ち定期は其の名の如く定期に貯蓄し臨時は冠婚葬祭等に充つる費用を節約して其分に應じて貯蓄する事にし現物は農作物の收穫時期に於て貯蓄するのださうだが其の筋では此の組合の設立動機及び方法が特殊なばかりでなく非常に善いものであると云つて大に之を獎勵してゐるとの事である（平壤）

滿洲里行の鮮人

鮮人の李光烈と云ふ男が我哈爾賓總領事館より許可を得て先日來長春及び滿洲里で如何な仕事か開いて見ると同縣の貨物の積卸しやら番人に使役するのであるが滿洲里行の鮮人を百五十名程募集してゐる滿洲里で日々募集して十名でも二十名でも集まれば直ぐ現場へ送る事にしてゐるさうであるが尙同方面には支那人側でも苦力の募集に著手してゐる者がある云ふ事である（長春）

通信教授
九星易學　陶宮家相
書目無代進呈
東京市本鄕區眞砂町　陽新堂

川魚一式
本日より仕出仕候
京城旭町一丁目電話二〇四六
御料理　會席　權平庵　中井ゆく

大阪堂島米穀取引所仲買人
富永龜次郎商店
大阪堂島濱通一丁目
電話北長　一〇三七番　一六九一番　一五八八番　五一六二番
發信略號（ミト）又（ト）
營業案內無代進呈
前金注文紹介不要

大連燒酎
先づ一瓶を求めて他品に超越せる芳烈なる香味を試よ
特約販賣店
仁川　河野竹之助
木浦　阿部儀右衞門
同　山口幸三郎
同　增永榮三郎
釜山　山邑支店
鎮南浦　吉富淸助
釀造元　大連燒酎製造所

桑新種子大販賣（送料無料）
一純魯桑種子　一升　金五圓五十錢
一砧木用桑種子　一升　金三圓五十錢
右例年の通り純良種子大阪府下產
多少とも御注文あれ一斗以上御注文の節は大割引す
發送は六月十日より注文順により急送ス
兵庫縣川邊郡山本村　阪上產樹園
振替大阪一九二一三

質（大口歡迎）
黃金町長谷町入口　電話二九一六番
田村質店
商品擔保便利取扱

好評　第四回
ミラの秘密　第七八篇
後明廿八日限り
黃金館出張　壽座

パール煉香油　パールポマード　パール椿香油
毛髮の營養に富み日本に冠たる……世界的パール煉香油として內外の需要頗る旺盛なり

化粧化學を應用し絕對的黑色養毛に適し實に遺感なき……
―現代理想の―
椿香油なり
關西代理店　大阪　平尾レート
本舖　東京　平尾パール

增資社債　株式定期　有價證券
引受（少額なりとも有望事業に迅速御相談に可應候）
賣買紹介（確實株式取引所仲買店へ誠實丁寧に御紹介可申候）
低利貸出（最も手續を簡便にし九掛迄御用達可申候）
東京市日本橋區阪本町三十（電話浪花三八一六番）
公債株式現物賣買店
加富屋商店橫山光

桑種
◎原產地へ社員出張、精選種製造中なり
◎六月初著荷値段御照會願上候
京畿道水原停車場前
株式會社　富國園
電話一三八番　振替口座三五三番

內科　小兒科
京城永樂町一丁目（商品陳列館前）
村上病院
院長　醫學士　村上龍藏
電話六一三番

春の旅行鞄は魔法瓶
旅行具專業
岩田鞄店
京城本町二丁目（電話九五四番）

眼科專門　入院隨意
京城明治町東拓橫（電話二〇四四番）
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄
江頭富雄

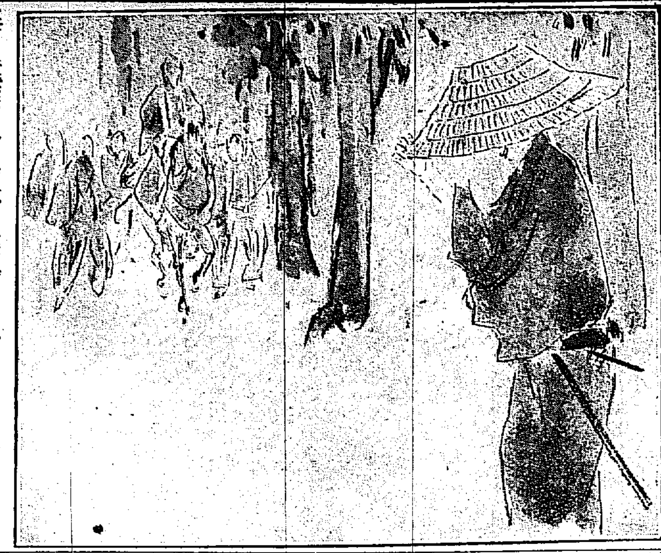
健康はココにある！
赤玉ポートワインを
飮むだけ血となり肉となる＝美味滋養の葡萄酒
朝夕欠さず召上る事です!!

勸業債券高價買入
貯蓄實行は最も手輕なる月賦賣
一ノ組　六十八回　六十七回　拾圓券二枚組　初回三圓拂込著金番號通知次回壹圓宛十七回
二ノ組　六十六回　六十五回　拾圓券四枚組　初回六圓拂込著金番號通知次回貳圓宛十七回
三ノ組　六十八回　六十七回　六十六回　六十四回　五十八回　六十五回　拾圓券六枚組　初回六圓拂込著金番號通知次回三圓宛十八回月賦
二千圓の福德　毎月くじの樂める組賣
支部出張所代理店增設
全國樞要の都市郡區に當籤番號表無代進呈
合手當給料其他一月毎に三百圓以上
有希望者は寫眞履歷書本社迄照會あれ
東京丸の內有樂町一の三
振替口座東京壹壹七六
大日本勸業合資會社

魚釣具及投網卸小賣
鳥捕用カスミ網各種あり（御申越次第定價表進呈）
京城永樂町貳丁目
吉備商會
電話三一一四番　振替京四三八番

塚原卜傳

第八十八席　悟道軒圓玉口演



待構へたる京極主水が　主『左内待てッ』と呼んで躍出したる有樣に、宮越左内大に驚ろき　左『さては汝は主水なるか、耐參の供先を遮ぎる無禮者、速やかに其處を退ぞけ』　主『無禮呼はり片腹痛たし、汝の手に懸つて無慙の最期を遂げたる舍弟半之丞の敵、其れのみならず先達て上意と稱して此主水の面を傷けたる憎くき奸者、重なる恨み御家の惡人、汝を討つて奸人誅伐の血祭にする觀念せよや』と言をも了らず、編笠取つて後ろへ投捨て、一刀スラリと拔放つて馬前へ立塞がつた　左『やア推參なり主水、半之丞の死は自業自得敵呼はり奇怪なり、兎や角申すは無益の至りソレ各々切捨て、了ひなさい』『心得ました』と十五六人の供の面々各々一刀拔放つて主水の周圍を押取卷くを邪魔立てするなと一刀を打振つて右と左りへ切つて落す、京極主水は一刀流の達人で山名監物の預かる講武館道場の師範代を勤めた人物、宮越の供廻りなぞは手に立たないバッタ〳〵と切伏せる、其腕前に恐れて跡はバラ〳〵と逃出した、左内怒つて馬上に槍の鞘を拂らひ、左分利流の槍術を心得て居るから馬を左右に乘開いて主水を目懸け繰出して來る、小癪なりと主水飛交ひ身を轉し飛鳥の如き早業を以つて躍上ると見る間に馬の鞍より鞍付へかけてスパーリ割付けた何ぞ堪らん馬は一聲嘶いて棒立となり、左内も馬上に堪らず筋斗切つて撞と落ちる、南無三と刎起きんとする處を起しも立てず飛懸つて肩先より血煙諸共五六寸割付けた、アッといふが此世の別れ歯を喰嚙つて反返るを咽喉元へ切尖を當てブッーリと止息を刺し　主『半之丞喜こんで異れ、汝の敵左内奴を斯の通り討果たしたぞ』と言ながら一刀の血を拭つて鞘に納め、四邊を見廻したが供の者も逃去つて居りませんから身繕ろひして其處を延早に立去つた早朝の事でありますから人通りもなく誰一人騷ぐ者もございません、此方は逃去つたる供の面々、足を宙にして程近き七本松なる三好下野守政康の屋敷へ馳付けて斯樣々々と訴たへましたから、ソレ曲者を逃すなとあつて固より三好一族には恩顧を受けて居る宮越左内の事でありますから居合したる家來の面々總物々々を攜へて案内に隨て右近馬場へ馳付ましたがモウ其時は主水は立退いて了つた跡で人影も見ねない只馬と左內が朱に染まつて切倒されて居ります　○『アヽ遲かつた、殘念な事をした』と足摺して口惜がつたが後の祭りで何にもなりません、据なく死骸を擔いで一旦下野守の屋敷へ引取り直ぐに將軍の御所へ此事を注進する、義輝公烈火の如く憤り　義『重ね〳〵憎くき奴は京極主水、此上は京の町々草を分けても尋ねいだし逆磔刑に行はんければ腹が癒ぬ早く其手配をいたせ』と御寵愛の家來が討たれたのでありますから膝を蹴つ身を揉んで下知をし給ふ樣子、此殿は主水の手に懸つて最後を遂げたか、惡人ながらも一旦兄とした人、氣の毒な事をしたと涙を流したのは人情さもあるべき事併しまた思ひ直せば何事も宿世の因縁、半之丞殿を殺した兄左内が主水殿の手に懸るは應報の道理、之れにつけても妾姉妹の仇は三好長慶が一類、一日も早く敵を打つて父上や母上の靈魂を慰さめねばならぬ其れにしては君の御寵愛を受けて居ては思ふ儘にならずどうしても御所を拔け出で身の振方をつけねばならぬと覺悟を極めた白妙が、玆に妹の伊登を呼んで心底を明し彼の祇王祇女が淸盛の館を出でし故事に傚ひ、室町御所を忍び出でるといふ一條。

人參王

京城本町壹・電話一四八〇番 一八七〇番

㋡津村兄弟商會

曆

五月廿九日　九星
舊四月二十日　丙子
本命　六白　危　大安

[illegible]

徽毒淋病で當惑する人に

帝國醫科大學特命製劑者たりし赤井先生の考案に成る藥化學應用療法は效力卓絕にして在來行はるゝ自宅療法と趣を異にし專ら使用の安全、簡易、經濟を主とせる最善良法なり

無代進呈

ハガキに必ず病名を記して照會あれ。彩色圖入の詳細解說書非賣品を直に秘密送呈す

東京市本所向島小梅町二〇武三
東京藥化學研究所

周易　明治町二丁目　介石堂　岡村介石

演藝案内

大正館　櫻井町　電話八七三

本活動寫眞は株式會社朝鮮代理店提供 [illegible] 二十四日より [illegible]
○滑稽『デブ君の悶燒』全二巻
○泰西活劇『焰の庫』五千呎
○新派悲活劇『蚊やり火』全四巻
○舊劇『一揚卷助六』全三巻
[illegible]

浪花館

初日　二日目　滿員御禮
浪界の花形重鎭！
大合同　競演會
大好評！人氣沸くが如し

壽館　京城本町　電話一〇五〇

▲浪花節　廳明劇　市川小梅　京一行
當る五月廿七日より [illegible]
▲前狂言　▲切狂言　盤若才作の傳　伊勢屋正宗
[illegible]

有樂館　活動寫眞常設館　電話（階上）五九七番（階下）二〇五番

當る五月二十五日より公開
文藝寫眞と怪談、活劇
○大活劇『山賊と貴婦人』全三巻
○狐兒物語『二滴の水』全五巻
[illegible]

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番

五月二十五日より開演
東都浪界の飛將　東西浪界の花形（合同競演會）
▲前座（合同）▲芙蓉▲義士傳（若虎）▲幡隨院長兵衞▲乃木將軍▲村上喜劍、寬永三馬術（九州男）
○怪談『本郷小町』全四巻
[illegible]

壽座　黃金町　京城　電話五七八番

當る五月二十四日より提供
▲連續『ミラの秘密』全三十一巻
▲喜劇『鬼小島彌太郎』
[illegible]

質

倉庫完全　債券買入
京城櫻井町二丁目　靑花園町　電話三一〇三番
㊉杉本質店

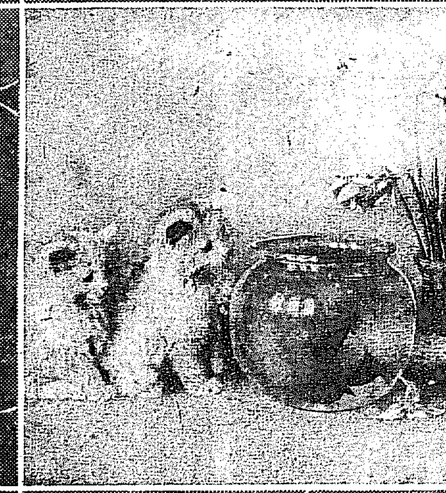
金銀時計製作販賣
仁川本町　岐阜商店

人氣ますます盛なる

化粧料……の……花形

桃谷硏究試驗所創製

白色美顔水



風薫るころ

▲マア何といふ人好のなさる方でせうと

◇誰にでも褒められる

この美顔水のお好みは、萬事が自然で態とらしい所が無くスッキリとしたもので御座います。わけても御化粧の事になりますと、斯ういふ方々は殊に自然なのを貴ばれます所から現今人氣の釜々盛になつてゐる白色美顔水が賞用されるので御座います

◇相當な御家庭で

白色美顏水をお識にならない所は殆ど無いと申される程で御座いますが、これは白色美顏水でなさつたお化粧ぶりは、從來の白粉などによくあつた白ペンキぢみた白さになつたり、然うかと思ふとまた斑になつたりジミ黑くなつたりと言ふ樣な事が絕對に無く、極めて自然で、生れつきの色白と見紛ふばかり、眞から美しく高尙で

◇如何にも人好き

のするお化粧顏になるからで御座います。何故かと申しますと、白色美顏水は普通の水白粉とは違ひ、効力の非常に強い美顏原料と、一種珍らしい作用のある白粉とを元にして製へましたものです。

◇色の黑い質の方

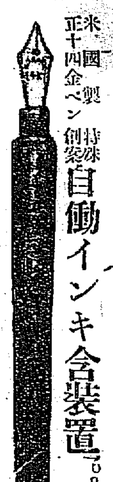
この美顏料が顏の生地を整へ、肌理をよくしてお顏の美しさを充分に發揮す所へ、此珍らしい白粉がスラリと延びて、高尙に品よく附く樣に出來てゐるからで御座います。それに此化粧料は

◇お急ぎの時など

ニキビ吹出物そばかす等の多い方荒れ性の方、お化粧に馴れぬ方など、凡てお化粧の巧く出來にくい方々でも、別段の御面倒もなく、すら〳〵と美しいお化粧が出來ます事、それから手間暇要らず忽ち美しい、人好のする、品のよいお化粧が出來ます事それから常用なさる中にお化粧無の素顏まで眞から綺麗になる事等、これが亦大層重寶なものとなつて居ります。されば白色美顏水は美顏白粉と共に貴き御方々の御用を辱なうし、益々非常の人氣を集め、化粧料の花形と言はれて居るので御座います。

英國女優の野球ぶり。打手はモード・ウエーン孃、捕手はアニタ・ハンセン孃

美顏化粧料　發賣元　桃谷順天館



米國製　正十四金ペン　特殊創案　自働インキ含裝置『パインビジネス』ペン

定價　金壹圓九十五錢

進歩的經濟的文房具の需要に加はり平常使用の『ペン』先に金製のものを使用するの最も適切なるは言を俟ず、而して此の金『ペン』先を裝する軸エボナイト製に到りては唯『パインビジネス』ペンあるのみ尙裝置せし『ペン』の背後に密接する特殊創案の筴入物によりて金ペン先の耐久力が期せらるゝのみならず一度『インキ』を含ますれば宜く數頁の使用に耐ゆる頗る理想的の高等文具にして各銀行、會社、官廳より御用命續たり

賣捌元　京城日報社代理部
京城太平通　振替三〇〇番

資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千貳百貳拾萬圓
總預金　貳億貳千六百萬圓

株式會社　第一銀行　京城支店

頭取　佐々木勇之助
支配人　西村道彦

京城本町二丁目　振替貯金京城 [illegible]　電話 [illegible]

イケダ小兒病内科醫院　池田季雄

京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話（醫院二三四番　自宅三〇〇〇番）

汽車　京釜線（南行）（北行）　京義線（南行）（北行）　京仁線（仁川行）　京元線（北行）（南行）　[illegible]

第三千四百三十六號（一）　明治三十九年九月三十日第三種郵便物認可　THE KEIJO NIPPO　大正七年五月二十八日　年中無休刊

京城日報

二十八日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）

發行所 京城日報社

獨逸の産業並に商權擴張策（七）

賀田直治

獨逸勃興の動機及び歷史（七）

要するに獨逸國民は健强にして氣力を有し婦人も亦實用的に内助の働をなし人口の繁殖も他國に勝り加ふるにカント以下哲學者の感化に依る思想的の統一中心を有し又國家に對する義務心を了解し、又思考力と勤儉心とを有して科學を根帶として産業の發展に努力したるを以て、其の進歩實に顯著にして盡くる所を知らざるものあるに至れり。加之裏面に世界政策を包藏しつゝ表面上通商的に世界の商權を競爭し更に根帶的勢力と研究的結果とに依りて、世界を壓倒せんとする國民の自覺的奮闘は擧國一致となり、組織的協力となり、例へば獨探の如きは目的の在る所殆ど手段を選ばず、猛烈に組織的に行動することを實に對手國としては嫌忌し且つ恐怖する事柄なるも獨逸自身としては後進國が先進國を凌ぎて恢復發展を圖るの上に止むを得ざるの方便と思惟するが如し。加ふるに社會制度も是れ學者の建策に則り、家族制も極めて健全且つ秩序的にして男女共に産業の進歩並に國力の發展に盡力するを以て、其の根帶に於いて頗る鞏固なる要素を有すること明白なり。且つ今回の如く當初は兎に角其戰後の勝利に依り益々强固なる自覺を生じ、自覺は更に自發心と無怖畏の勇氣とを生じ、愈々以て世界政策の野心を膨脹するに至れるものにして、獨逸の將來は實に世界に影響するの一大問題なりと謂ふべし。

植民政策（一）

獨逸は元來農業國なりき、特にフリードリッヒ大王の强制的勸農に依り躍然として進歩を促せり。即ち十九世紀の始めに至る迄は全國二千五百萬の人口中四分の三は田園に住み、多くは農業に從事し、併せて林業をも營み、極めて質素に農村を形造り、分業法も發達せず、謂はゞ自ら麵麭を燒き、牛豚を屠り、自ら紡織もなし、鍛冶もなし、大工もなすと云ふが如き單純なる有樣にて歐洲中半分の田舍者なりしなり。加之一般に土地磽确にして天惠薄く、氣候も亦冱寒にして沿海砂丘連りて良港を缺き全く堅忍勤勉漸く生活に資するの狀態なりしなり。此間大地主に於ては配下の農夫を奬勵して農業の進歩に努めし事實ありしも固より顯著なるものにあらず。工業は全く振はず、只僅に西部地方に於て幾分發達せしに過ぎず。然るに十九世紀の初葉ナポレオン襲來の國難に當りて全國の人心根帶より覺醒し、普國のスタイン、ハルデンベルヒの行政改革若はフムボルト、フイヒテの教育主唱等に依り自奮活動の生氣充實し來り、加ふるに隣國英、佛の商工業に刺戟せられて頓に競爭的の氣勢を生じ、農業も亦英國の穀物輸入の爲め少からず奬勵的刺戟を受くるに至れり

母の改良（一）

法學士　李範昇

○母の改良により社會は改良せらるゝもので有る。ナポレオンは『一國の盛衰を知らんと欲せば先づ其の母親を見よ』と言はれたが實に味ふべき價値が有る。母の不完全な國に兒童の完全は望まれない。好き果實は好き親木より得らるゝものだ。目下鮮兒等の不活潑にして萎靡懦弱なるは種々の原因が有らうが先づ家庭の罪が多い。今日兒童の心理を理解し其の天性を好く導く親殊に母親及び母親たるべき人果して幾人かある。たまたま文學中毒をしたり、人の長所には見向きもせず其の短所のみを金箔付きで頂戴するものはあるが此れ等は却つてなきに如かない。かく云へば盛に攻擊を受くるかも知らぬが其れは一時の感情つまり腹の虫が承知しないだけに過ぎぬ。

○感情と云へば話は本問題外であるが私は山縣氏及び其他の方々へ滿腔の謝意を表せずには居られぬ。先日『赤切符で東京まで』には泣かされた、シャクリが込み上るまで泣かされた。若葉の雨に京の春くる夕を思ふ存分に泣いた。私の泣いたのはかなしい涙でもなく、口惜しい涙でもなく、只甘い涙だつた。丁度今迄痛さ辛さをヂッと忍んだ子供が母や妹の甘い言葉に急に泣き出すそれだつたのである。今迄隨分痛い思ひ辛い思ひをした。併合した今日となればどうか早く併合の實蹟が表はれて欲しい。朝鮮を外國取扱ひは好いが少し知識が足りなく時代遅れをしたからとて丸きり生蕃取扱ひは酷い。血の關係からしても歴史の關係からしても此んな取扱ひは受けたくないなど瘦せ我慢を張つた私は益々自覺の足らざるを知り胸の中の妙なカタマリは漸に悉皆り溶けて了つて早く此のアンヨが驅足する處まで進みたいと思ふた。

○今までも私などは隨分此處の方々の御親切に預つて居る昨年の九月からは研究生活も學校の奬學金でやつて居るようなわけでN先生は私の事なら御自身の事同樣面倒を見て下さる位、他の諸先生も同樣である。其他知識階級の人々も朝鮮に多大の同情を持たれて居るが爲め其の恩惠を私が蒙るから誠に感泣に堪へぬ次第であるが、無思慮者共の横暴には矢張り腹が立つ其の言ひ草や振る舞ひが癪に觸らざるを得ぬ、腹を立て癪に觸らした處で何の役にも立たないが役に立たぬだけに反撥心が起る。此れらは只小い感情の衝突に過ぎないが感情の强き人間の端くれなる以上は萬事此の感情に支配せられ易い。一寸の虫も五分の魂など云ふも此の感情の御念で有らう。一體感情は境遇や身分に依り其の働き加減が違ふようだ。即ち賤身逆境のものには感情が過敏に働く。俗では有るが知り易き例は華族と新平民を對照して見れば好く知れる、同じく身分付き代名詞でも殿樣、御前など呼ばれては怒らないが非人、コヤヌケ、穢多など、呼ばれては怒る確かに怒る。此れ何が故に彼れには怒らず此れには怒るので有らうか？只尊敬と輕蔑との分たるゝ刹那侮辱を感ずると否とに有る。

井上圓了博士を迎へて

槐翁

○我が敬愛する井上圓了博士來るを歡ぶ。博士は、近時國民道德の頽廢を慨し、國民道德普及會を起して、日本四十餘縣を巡講し、國粹の保存と、國民道德の涵養鼓吹に努むること十餘年、其の間、歐米各國に遊ぶこと三回、其他印度、支那各地を巡遊し、足跡殆んど全世界に及ぶとのことである。

○博士はまた、東京府下豐多摩郡に、一萬五千坪の地を選んで、哲學堂を建て、有名なる哲學者の靈を祀り、學生等の修養に資せんとしつゝある。而して之れが完成を期する爲めには講演の餘暇を利用して、江湖の揮毫に應じ、只管哲學堂の完成に努め、今回はまた總督府の囑託に應じて、將に十三道巡講の途に上らんとして居る。我吾人は六十一の老軀を提げて、猶ほ思想界の爲に、盡さんとする博士の熱烈と勇猛とに向つて、先づ多大の敬意を表せねばならぬ。

○今や、我が國民道德の頽廢は其の極に達せんとして居る。今に於て、之が救濟の方法を講じなかつたならば、遂には國家社會の爲めに、悲しむべき場合に立ち至らぬとも限られぬ。近時横文字の一行も讀めるやうになると、一にも西洋、二にも西洋と、西洋カブレして了ひ、西洋の思想や學問を鵜呑みにして、或は祖先傳來の魂までも、入れ換へようとする傾あるは慨すべきの至りである。

○五箇條の御誓文にもある通り、吾人は、廣く世界に智識を求めて我帝國の發展に資せねばならぬことは、固より論なき處なるが、是れは、日本固有の精神を基礎として、それに益々精彩を付け、以て世界に冠絶せる國家たらしめんとするに外ならぬのであつて、決して魂までも、取り換へるのではない。

○博士は『試みに、今日農村を訪ひ、鍬把る人に、道德とは什麼ものかと訊ねて見よ、之に答へ得るものが、果して幾人あるか』と、國民道德の頽廢を慨して居るが、農村は姑く措き、世の所謂智識階級に向つて、此の質問を發して見よ。言行共に、博士の首肯すべき確固たる答をするものは、恐らく曉天の星程もあるまいと思はれる。

○博士よ、願くば、此の機會に於て、混沌たる思想界に、一道の光明を與へられよ。而して我國民をして天壤無窮の國體と共に、朝日に匂ふ山櫻の如く、花も實もある大和魂の所有者たらしめられよ。

釋王寺鑛泉（下）

總督府技師　吉木彌三

鑛泉は殆んど無色透明にして久時放置するときは漸々溷濁して遂に褐色沈澱を析出す異臭なく稍々清爽の鑛味を有し反應は弱酸性にして鑛泉滲透のアルカリ性に變ず其比重は攝氏十五度に於て一、〇〇七二にして本泉一『リーテル』中に固形物を〇、〇〇二を含有す今之れを測定し之が分析を施行せし左の如き結果を得たり

▲酸化カリウム〇、〇三七五▲酸化ナトリウム〇、二一七〇▲酸化カルチウム〇、三三四〇▲酸化マグネシウム〇、四五▲酸化鐵〇、〇一三四▲酸化アルミニウム〇、〇六八七▲クロール〇、〇一三▲無水硫酸〇、〇一二五▲硅酸〇、〇六七▲遊離炭酸二、六〇〇〇

備考　右表中の數字は本泉一『リーテル』中の瓦量を表す右試驗成績に依れば本泉は含鐵炭酸泉に屬するものなりとす

次に本冷鑛泉中放射性瓦斯の有無を檢査せんが爲め同試驗用電氣機エングレル、シーベキング式『フオンタクトスコープ』を以て同湧出地に於て連續觀測せしに其結果本冷鑛泉中には『ラヂウムエマナチオン』を含有し其量は本泉一『リーテル』中二、二四『マッヘ』なることを知る尚本溪流に沿ひたる一帶の地は井水豐富にして至る處に湧出し其水質も次表に示す如く頗る良好なり

▲水質試驗成績

▲色　無色透明▲沈澱物　殆んどなし▲臭味　無臭▲固形物總量二五、〇〇ミリグラム▲クロール七、一〇〇▲アムモニア▲亞硝酸共に檢出せず▲有機物（カメレオン消費量）二、八四四▲硬度〇、二二度（化學的檢査）

備考　表中の數字は水一リーテル中のミリ瓦量を示す右試驗成績に依れば本水は普通井戸に於て稀に見る良好なる飲料水なりとす

□新義州より

五月廿五日　隈部親信

滿洲巡視の途次特に鮮地の一角に入り朝鮮官民各位に敬意を表し候併せて貴社の御隆昌を祝す

石原留吉　列名の光榮を有す

（◇雜誌抄）

◇野干とは犬の一種である（犬の雜誌）

野干は狐よりも野犬の一種である。現今は本邦には棲息を見ないが印度や馬來半島などへ行くと勿論印度あたりでも、家畜として飼養せず野獸として取扱つてゐる大木の根などへ深く穴を掘へて棲息してゐる。一見狐に似て居るが、尾も太くはなく、身體も小せでやつぱり肉食獸である

◇螢は益虫（衛生雜誌）

螢の幼虫は頭部が非常に細いので田の中にある片山貝の中へ喰入つて其の肉を食つて了ふ所で此の片山貝といふ貝は水田の中に發生する貝で農夫が田の中へ入つたとき其の皮に取付いて血を吸ふ住血吸蟲の中間宿主である、から此の片山貝を殺すときは自然に住血吸虫を殺すことになる、それを螢の幼虫が喰つてゐるのであるから螢の幼虫は益虫である、これを發見したのは宮島醫學博士である

◆一金一千圓の懸賞に發見せる三段式最新最良理想的教授法により講義録を發行して◆好評嘖々新入會者續々殺到せり

大日本國民中學會

會長　尾崎行雄　學監　遠藤文學博士　山內理學博士　顧問　新渡戶博士　和田垣博士　三宅博士　浮田博士

第廿九回　新學期開講　大特典提供　東京駿河臺　大日本國民中學會

小學校卒業生の諸君　最も適當なる學習法もあり　中學講義録に就て學び將來立身の出世を期せよ　目下入會の絶好時期也

講義録規則書見本つき申込次第進呈

◇講師東京高等工業學校教官◇本邦唯一の模範的工業講習録

建築講義

◇見本進呈　新學期◇會員募集　壹年卒業

○建築沿革○建築製圖○日本家屋○西洋家屋○構造法○規矩法○家屋構造○建築材料○鐵筋コンクリート○材料○衛生及社寺建築○茶室庭園

大工は勿論建築請負業者に從事する者等に必要な講義は容易に實行して必ず建築家たるを得る

東京小石川　大日本工業學會　振替東京一八一六

購買入札

第一號 大豆五百石　第二號 精米二百石外二點

右購買ス詳細ハ大正七年五月二十八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

競爭入札　購買

一、鉛筆、朝鮮紙以上四點　一、磁石式小市外交換機外壹點

詳細五月二十八日ノ本府官報ニ在リ

朝鮮總督府遞信局

公告

二等道路光州順天線第六工區改修工事

此入札保證金各自入札金額百分ノ五以上（圓位未滿切上ゲ）

右工事請負希望者ハ當廳ニ就キ入札ヘ及請負人心得書契約書案仕樣書設計書圖面及現場等熟覽ノ上六月十日午前十時當廳會計係ニ於テ入札スヘシ

入札時間

此契約ノ朝鮮總督府全羅南道長官宮木又七之レヲ擔任ス

大正七年五月二十五日

全羅南道

六月一日より三日間

夏衣新柄　よせぎれ　見切反物　大賣出し

京城　三越呉服店

新家庭

表紙は川端龍子額面用附錄は伊東深水の畫で何れも石版十二色刷□□□□光澤紙刷りの□　寫眞版は上流家庭令嬢と歐洲戰爭畫報四十□

▲讀切小說　武士の妻　渡邊霞亭　井川洗厓畫

▲長篇小說　巡禮歌　北島春石　近藤紫雲畫

▲歴史小說　女武者　大倉桃郎

▲怪異物語　霧島の仙女　海賀變哲

▲法廷實話　女暴君　今井藻水

本誌の呼び物は杉村楚人冠の戀

戀といふは立派なものである——人間らしい立派なものでありながら、多くの親はこれを忌む。小說の中に出て來る主人公が戀に浮身をやつすのを讀んでは同情の涙に咽びながら、さて自分の娘が戀とか何とか言ひ出せば多くは頭から叱り付けて了ふ……と云ふて楚人冠獨特の筆で大いに戀を論じて居ます

■西園寺さんが出なければ……本誌の主筆

■女子教育は斯くありたい……遠藤隆吉

□明倫歌集講義をくみて……下田歌子

□自叙傳の續き子供の教育……鳩山春子

■梅雨期と夫人小兒の衛生……吉岡彌生

■發育盛りの小兒の食べ物……長谷川理吉

□苺をおいしく食べるには……松村源次

□臙脂豆飯を御試み下さい……田邊玄平

■呉服物は何故高いのか……平山蘆江

■夏の敷物と其他の流行……八代みよ

□畜蠶骨薫初心問答……大雅堂主人

□清新な野草の盛花……安達潮花

六月號　一部三十五錢　送料二錢五厘　六冊二圓七錢

玄文社　東京芝區芝公園九號　電話芝六六九七　振替東京一四一七

德富健次郎著

新春

（四六判四百六十頁○特金裝羽二重表紙）定價金壹圓六拾錢（送料八錢）（賣捌）

發行三週間にして已に二萬部を賣盡し『新春』は春潮の勢を以て我日本に漲りつゝあり。

歴史あつてより何千年、今生は五十年にして初めて眞の春に會ふた人の子の一人が歡喜の名乘りを揚げた『新春』こそ取りも直さず四海一家の人類の春を呼ばう雲雀の第一聲であります。死を亡ぼす生の凱歌、惡魔を降す愛の福音、阿鼻叫喚の地獄苦の眞唯中に洋々と湧き起る人天交歡の大オオケストラが始まるもこれからです。『新春』を讀んで共鳴せよ、我日本の人の子——世界の人の子が讃美の莚に來り加はるまでに。

（著者スケッチ色刷二葉○特撮寫眞版五葉）

京城本町二丁目　振替京城二四五四　嚴松堂京城店

京城本町　振替京城二五七三番　大阪屋號

東京神田錦町三丁目　振替東京四〇六六番　福永書店

○段總長辭職申出

段芝貴氏は段總理に辭職を申出でたるが總理は是れを保留しつゝあり其原因は段總長は自派の者のみを用ひ全軍諸將校の反感を買ひ居り最近の形勢は漸次主戰派に取り不利に陷りし爲なりと（北京特電）

○孫逸仙氏渡米せん

孫逸仙氏は近日廣東を發し日本に來遊の筈なりしも俄に豫定を變更し一時香港に避遁したる上米國方面に赴く可しと（廣東特電）

○日支協定と國務會議

日支協定の內容に關し頻りに各方面より其發表を迫り來る爲め二回國務會議に附議せるが軍事の秘密に關するを以て發表せざる事に議決せり（北京特電）

○西南國會召集通電

西南聯合政府は六月十二日正式國會召集の旨を各省に通電し議員の廣東に來らん事を布告せり（北京特電）

○長沙城外の洪水

湘江は連日の降雨の爲め增水し二十四日夕方より長沙城外沿岸一帶に氾濫し始め翌二十五日朝に至りては正門外方面の本邦人の商店の大部分も亦浸水を受け船にて交通を保ち居れり浸水は緩漫なるを以て人命には危險無きのみならず財產にも大損害無かる可し領事館構內も船にて交通し浸水は床上に達せんとす（長沙電報）

○烏蘇里鐵道長官に警告

東淸鐵道會社はホルワツト長官の名を以て烏蘇里鐵道長官宛次の警告的電報を發せり赤衞軍並に軍器品の輸送料金は前金にて支拂ふべし然らざれば鐵道從業員一切の增俸を撤廢すべし（哈爾賓電）

○首謀者廿三名處刑

東淸鐵道從業員は再同盟罷工を爲さんとする兆あるよりホルワツト長官は極端なる壓迫を試み煽動分子と目する者二十三名を捕へ投獄せるが從業員は其意氣に恐れ稍々沈靜に向ひつゝあるもの如し（長春特電）

○侍從長親任式

天皇陛下には二十七日士官學校卒業式より還幸の後午後零時三十分宮中御座所にて波多野宮內大臣侍立の上左の親任式を行はせられたり（東京特電）

從二位勳二等伯爵 正親町實正
任侍從長

○金銀盃御下賜

二十七日經濟會議特派員長たりし阪谷芳郎男以下に對し金銀盃下賜の御沙汰ありたり（東京特電）

○樞密院會議

二十九日の定例樞密院會議を繰上げ二十八日午前十時より宮中に開會日支協約を御諮詢あらせらる可しと（東京特電）

○小口落禁止
取引所法改正か

農商務省にては從來仲買が慣用し來れる小口落を弊害ありと認め是れが禁止を揭ぐる筈なるが小口落の

▲方法を分類せば一、同一客の委託に係る兩建二、同一仲買人の兩建三、二人以上の客よりの委託に係る建玉四、客の賣玉に對し仲買の買玉を建つる場合五、客の買玉に對し仲買が賣玉を建てたる場合なるが第一第二の場合を除くを第三以下は幽靈等を作り又は仲買人が客の依託證據金を利用し得るの弊害あるを以て第三項以下の小口落を禁ずるものにて此他從來賣買

▲兩建の場合 遞減若くば免除され居たる證據金は此れを徵收するものとし其實行法は取引所をして自發的に營業細則を改正せしむるか或は勅令にて取引所法を改正す可しと云ふ（東京特電）

○吉田代議士

北海道選出代議士吉田三郎右衞門氏（新政）は二十六日夜病氣の爲め逝去せり（東京特電）

○小山代議士危篤

宮城縣選出代議士小山東助氏（憲）は病氣危篤也（東京特電）

○青木中將歸朝

總統府顧問青木中將は二十五日午[illegible]

○露國の大損失

[illegible]和の價値を論ずべし吾人は該講和[illegible]ン等のウクライナ[illegible]大なり即露國は四千六百萬の人口と[illegible]城の都市は全院國會民二千七百萬を示し居れるなり吾人は全部にし穀物及馬鈴薯は三十九布度に低[illegible]國の鐵道は全長六萬六千露里なり[illegible]千五百萬留の製造力を有する九千[illegible]者は五億布度穀物は七千萬[illegible]

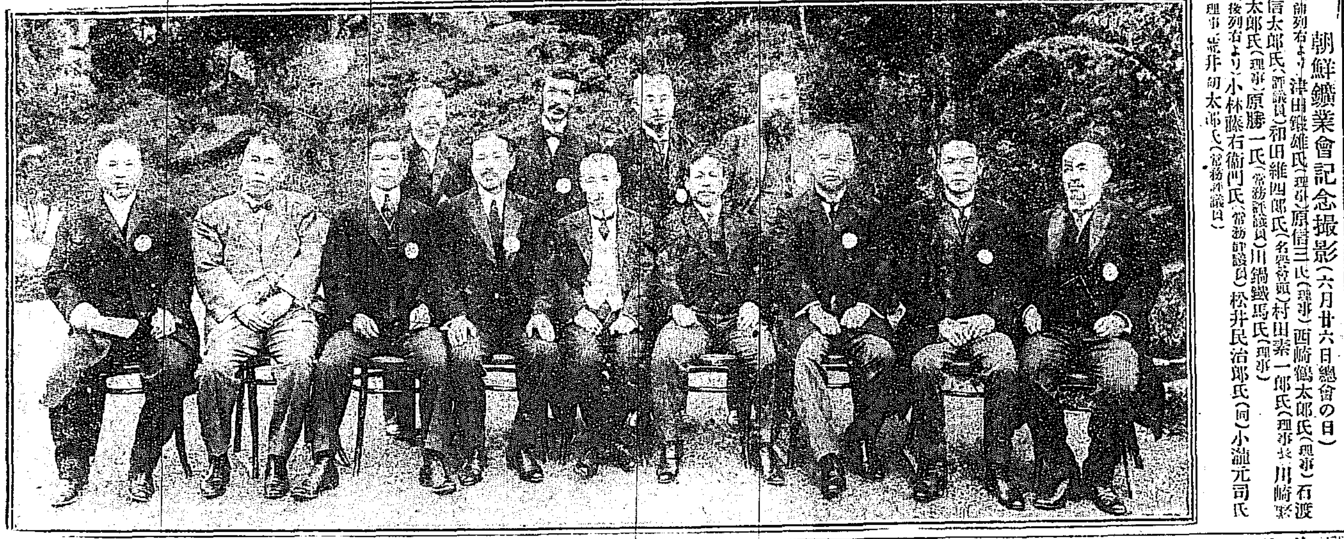
後出發館朝の途に就けり今回の旅朝は往復一箇月の豫定也（北京特電）

○總督出發

長谷川總督は二十六日西鮮に向け出發の豫定なりしも都合に依り延期の處二十七日夜南大門發列車にて發程せり

○京木國道工事

京城より木浦に至る國道は光州長城井邑間の改修工事を殘しつゝあるが大正十年度より此れが起工を爲すべき筈なりしも八島總督府技師調査の結果大正八年度に於て起工せらるべく此れを以て全く木浦京城間の一等道路竣工すべし



朝鮮鑛業會記念撮影（六月廿六日總會の日）
（前列右より）津田鍛雄氏（理事）原信三氏（理事）西崎鶴太郎氏（理事）石渡信太郎氏（評議員）和田維四郎氏（名譽會頭）村田素一郎氏（理事長）川崎紫太郎氏（理事）原勝一氏（常務評議員）川鍋鐵馬氏（理事）（後列右より）小林藤右衛門氏（常務評議員）松井民治郎氏（同）小論元司氏（理事）吉井朝太郎氏（常務評議員）

○朝鮮外米移入風說か
鮮米移出餘力四十萬石は確實

外米管理令の實施に引續き政府は朝鮮にも外米を移入するの意圖を有すと傳へられ朝鮮に於ける米穀市場は玆に氣迷ひを生じ常用向精米用の外は殆んど取引絕無の有樣なるが政府は

▼果して朝鮮に外米移入を補償金を何れより支出すべき總督府會計に於ては斯る餘裕有るべしとも思はれず尤も朝鮮にして米價暴騰に苦しみつゝある折りにてもあらば所謂背に腹へ代へられずもあらば如何樣ともして捻出すること、成るやも知れざれども今日の處にては穀價高、副業所產の高騰の好影響をこそ受けたれ米價高の爲めに一般消費者の惱むれる苦痛は之が調節の必要を認むるの程度に達し居らず寧ろ農民の懷合潤澤なる爲め市況活氣を呈せるは爭い難き事實なれば此際總督府が無理なる工面をなし身錢を切つて補償金を支出することの有り得べきや疑問とすべし

▼一方政府自ら補償金を給付したる外米を朝鮮に供給して米の移出餘力を增し以て內地に移入せしめんとの意思を有すと假定せば鮮米移入に依りて內地の米價調節の目的を達する上に相應有効なるべしと云ふ前提の下に爲されざる可からず然るに內地に於ける米の不足額は二三百萬石と見積られ縱し朝鮮より百萬石を移入すとも尙一二百萬石の不足あり此不足なる文字は本と精密なる計數より出でたるにあらずして概略斯の如きものなるべしといふに過ぎず內地の貯米者も亦過般の消息を熟知することなれば單に不足といふのみにても貯米者の

▼强氣を挫くは困難にして鮮米の移入に依りて米價調節にせんとするは聊か迂潤の嫌なきにあらず殊に內地にて米價高の爲め困憊せるは下層民にして而かも之が救濟は刻下の急に迫まれるに力り斯る微溫的調節策は政府の目的に副ふ所以にあらざるべし乃ち朝鮮に移入すべき外米の補償金を支出する程ならば內地の消費外米に對し補償金を增し此上安價に賣出さしめ端的に調節の効果を收むるの策を採るを至當とせん去りながら政府は別に見る處ありて外米を朝鮮に移入するの猛斷を施すものとするとき今日鮮米の移出餘力は幾許なるべきかを推想するに大正五年十一月より同六年十月末に於ける移出高は

▼米の輸移出高 輸出六十三萬七千五十五石、移出百二十九萬六千五百九石合計百九十三萬三千五百六十四石にして大正六年十一月より今年四月末日迄の輸出十二萬六千四百九十石同移出高九十八萬三千五百三石合計百十萬九千九百九十三石なれば大正五年に比し大正六年の減收高三十萬石を控除するも尙五十餘萬石の移出餘力を有する筈にして現に穀商手にて重なる米穀商擔附近に保管せるもの有るのみにて四十萬石に上れるを以て別に十餘萬石を蒐り集るは左程の難事にあらざるべきも昨年十一月より本年四月末迄に外米三萬八千石の移入又本年一月より滿洲粟五萬八千五百六十石の輸入ありたるも賣行極めて不況にて其大部分は

▼商人の倉庫に堆積されつゝある狀態なれば此間米の消費されつゝあるは勿論にして政府が外米を移入して此上鮮米を剩さしめんとするも既に手遲れと成れるの觀あり政府も之を知らざるにあらざるべし外米移入說は或は風說に過ざるべきかと消息通は語れり

○米國と濠洲の鑛業（二）
加州の砂金鑛＝動力七百馬力

川崎總督府技師講演
於京城ホテル

◆鑛山の概況 私はカルホルニヤのケンネツジーの金鑛を見たが、これはスウエダネヴアダ山脈の西方傾斜面に當り海拔五六千尺の處に在る、同地一帶は米國に於ける重なる金鑛の所在地であつて鑛脈は巾一哩位、百三十哩に亘り、此內長いのは一哩、內外巾二三十尺のものがある、米國では之をカ州のマザーロードと呼むで居る鑛石は京城以北の山から出るものに似て、硫化鐵の量二パーセント乃至三パーセントである、此處からは自然金も出るが、其出た大金塊に一個四萬弗のものがあつたと聞く、鑛脈は間々ポケツ形のがある、深さは地下四千餘百尺に達するものもある、金含有量は百分の六、七で一噸四、五弗の間であるが、精鑛して三弗七十八セントの金を得て居る、此山脈の麓、サクラメントから近い處に砂金鑛がある、層の深さは約八十尺、一ヤード立方尺の砂を採掘すれば十セント以上の金が出るさうだ、ドレツジヤーを幾基も据ゑて掘つて居るが、其大きなのは三十萬弗もかゝる、一つのバケツトの大さが三立方ヤード一時間に四百立方ヤードの砂を掘り上げる、使用動力は七百馬力である

○大邱短信

▲道長官講演 慶北道長官鈴木隆氏は二十五日午後八時より大邱東城町日本基督教會に於て『求諸於己不求於人』の題の下に講演を爲したり▲古城副官去來 目來兵事々務並に演習召集簡閱點呼に關する打合せの爲め南鮮地方出張中の軍司令部古城副官は二十四日後四時大邱着二十五日慶北道廳に各郡兵事主任を召集し右に關する講話を爲し二十六日慶州に向け出發す▲水產物出品勸誘 高知縣水產組合にては來る十月十七日より十日間水產共進會を開催する筈なるが右に就き朝鮮各道より參考品の出品を歡迎する由にて慶尙北道へも各當業者に對し出品を勸誘すべく二十三日總督府より通牒ありたり▲迎日水利工事 慶北迎日水利組合灌漑工事は次々工事進捗し川の兩岸に据付くべき揚水機二臺も與に到着し尙工事監督として總督府より眞鍋技手出張し同地憲兵分隊にても大に援助を與へ居るを以て來月五日迄には水路共全部の完成を見るに至るべし

○山本氏記者招待

入京中の山本條太郎氏は二十八日正午在京城の新聞雜誌通信社各代表者を朝鮮ホテルに招待すべし

人事消息

▲朝枝信太郎氏（小野田セメント京城出張所長）廿七日夜入京天眞樓へ
▲飛島聯二郎氏（東京林屋洋行員）同上
▲柿內常次郞氏（北京銀行員）同上 朝鮮ホテルへ
▲井崎精一氏（滿洲島憲兵隊長）同上不知火
▲中村四郎氏（滿洲憲兵隊長）同上南山本へ
▲堀井竹夫氏（滿洲憲兵隊附）同上
▲三谷為國氏（滿洲憲兵隊長）同上原金へ
▲藤井恭吉氏（安東憲兵隊長）同上
▲勝信夫氏（大阪織物業）同上英陽旅館へ
▲伊藤敏太郎氏（滿洲共益商行主任）同上
▲吉川碧茂氏（京城鑛業所倉務課長）廿七日朝入京山本旅館へ

百聞百種

米國の大統領ウキルソン氏の夫人は、夫君の政治上の主義を徹底せしむる爲めに社會的に大活動をして居る▲のみならず一週に二回宛コール、アンド、ポースト紙上に平易なる論文を載せて、デモクラシーを宣傳するなど、夫人自身も頗る徹底したものである、其處でウ氏は米國に大統領として、世界一の成金國たらしめ、參戰しては人民をして戰爭氣分に緊張せしめ、美しい夫人と結婚しては直ちに自己の主義に同化せしめた世界一の徹底的果報者と成つた▲大阪の辯護士砂川雄峻氏が斯業に身を委ねて玆に三十年、其間時折りの感想を記したものが積りつもつて一千頁に近い▲讀むで見ると非常に面白いので或人が出版を勸め、氏も其氣に成つて、書生に本屋を呼ぶべく命じた處が書生は何う間違つたものか紙屑屋を呼むで來た▲氏は其れとは知らず交涉を初めると、屑屋は目方次第で何程でも買ひます、に氏は怒つて追返へした▲其後門下生の斡旋で此程公刊することに成つたが、氏は前の失敗を記念する爲めに題名を『法曹紙屑籠』と命じたさうだ

六月號 中學世界
青年の意氣を見よ！ 覇權は掌上に在り！
有益な菌有害な菌
坊や俺と女詩人
科學小說 青死病
京政友會總裁の少年時代
頭の青年、腕の青年
好きで勉强 三宅文學博士
受驗學
東京本町 博文館 振替東京二四〇番

冒險世界
清然の氣 內藤鳴雪
メタル懸賞
アドミラル 島野海夫
戰慄すべき獨探の魔手
血染の軍旗
大戰亂の響
喧嘩腰で勉強
一冊金廿三錢

現代川柳句集
身體的德義として養生の必要
身心共に健康になる養生法
度々の難病から養生法
十分間の神經衰弱全治
日常の養生と不淨の關係
東京大塚 甲寅出版社 振替東京二八一八一番

婦人養生號 婦女界 六月號 本日出來
お產に關する樣々の經驗
薬草藥木と民間療法經驗
主婦の讀物
電氣の話
產聲
花の御所
人の罪
東京牛込加賀町 婦女界社 振替二〇二八三番

購買廣告 光州監獄
間自動車發着時間 中央自動車組合
軍隊拂下品販賣
特別賣却 中古品
製氷器 金子與市商店
蠅取
富の道しるべ
京日案內
朝鮮語科 英語科
魔法瓶 高木旅行用具店
中古ミシン買入
金銀細工職 清水製作所
旋盤十尺物一臺 格安賣却

[illegible]吾人は玆に[illegible]若干の數字を[illegible]して[illegible]

●趣味に偏しては損

◇美術鑑賞に二つある◇ ◇子守女が仙人ならば◇

洋畫家 石井柏亭氏談（上）

美術の鑑賞に二つある、卽ち美術を骨董的に鑑賞するものと美術を美術として鑑賞するものと此二つである、美術を骨董的に鑑賞するものとは其品物の美術的價値よりも寧ろ

■來歴年代 等に重きを措くもの、語を換へて言へば是は何の某が持つて居た何百年經つたと云ふ事を標準として評價し珍藏するものである、固より惡い事ではないが一方に凝つて了つて其以外のものは鑑賞の價値がない樣に思ふのは宜しくない、眞の

■美術眼を 以つて見るならば來歴の正しいもの來歴の古いものゝ中にも隨分無價値のものがあり新しいものゝ中にも亦有價値のものが尠くない、伊達家の入札以來入札が一種の流行の樣になり了譜の双幅が何十萬圓で誰に落ちたの吳春の山水が何萬圓で誰に落ちたのと頻りに世間の耳目を聳動させて居るが、吾々から見ると

■了譜の物 など世間で評判する程夫れ程好いものではなく美術上から云ふと却つて無名の支那人の描いたものに好いものがあるやうに思ふのである、古いものを尙ぶと云ふ事は茶席に莊重な感を添へ一種の床し味を加へると云ふので主として茶人仲間に唱道せられ一般に此影響を受けたものと思はれるが夫は兎も角、書畫を

■骨董的に 鑑賞する人には又得てして畫其物に對しても餘りに因はれ過ぎた考へを抱いて居る者が多いやうだ、私は今度朝鮮に來る途中大阪に立寄つたが其際或る數寄者が、竹林と家屋を描き其家屋の前に子守女の立つて居る畫幅を持つて來た、却々好く描いてあつたが其人が『子守女の代に

■仙人でも 書いてあると好んだが……』と頗る不承顏である、其處で私は『夫は貴下の考へ違ひであらう、成程漢詩趣味の眼から見れば仙人の方が映りが好いかも知れぬが、子守女をかいた所で此繪の價値は決して傷けられぬと思ふ、殊に日本固有の

■和歌俳句 の中にも斯うした畫趣を見出す事が出來るし決して不調和ではない、從つて奥床しさがないとか趣味が淺いとか云ふことは全然ないと思ふ』と反駁した所其人も漸く首肯したらしく成程々々と感心して引き退つたが總て斯う言ふ風に一方の趣味にのみ偏すると云ふ事は宜しくない

■其結果は 年代は古くても美術的價値のないものを摑んだり、本當に美術的價値のあるものに出會しても空しく之を看過する事などがあつて結局美術品蒐集上非常なる不得策を招く事になる

◇天皇陛下行幸

天皇陛下には二十七日午前九時陸軍士官學校卒業式に臨幸、優等學生の御前講演を聞こしめされたる後十名の優等生に恩賜の銀時計を傳達せしめられ正午御機嫌麗しく還幸遊されたり（東京特電）

水の畔 ＝龍山＝ 夏川や石に腰して足ぬるゝ

■平和の女神の梗概

松旭齋天勝が演じてゐる喜歌劇『平和の女神』は今度の世界戰亂を諷したもので最初幕が開くと或田舍の景で大勢の村の娘達が歌を唄つて樂しげに遊んで居る。

◇其處へ一人の暴漢（獨逸）心ならずも服して居る四人の部下（墺太利、土耳古、勃加利、ルクセンブルグ）を引連れてやつて來たので村の娘達は皆逃げ去る暴漢は一人の部下（ルクセンブルグ）がまだ子供なので足を痛めて落伍したのを嘲り蹴踏にも咎を以て之を打擲する。

◇遠くで此有樣を見て居つた其土地の持主の娘（白耳義）は走り寄りて之を制し且無斷で他人の土地に入り來れることを詰る。日頃此娘に思を寄せて居つた暴漢は今迄の態度をカラリと變へて其の無禮を謝し甘言を以て之を籠絡せんとす。然るに娘は手強く之を斥けたので暴漢は殘虐の本性を表し繊弱き娘を打擲する。

◇先きの子供は之を見兼ね身を以て娘を救はんとす暴漢は何を小癪なとばかり子供を打擲る娘を側の樹に縛し部下の一人（墺太利）に監視を命じて此處を去る。子供は番人の隙を窺い娘の縛を解き之を介抱しつゝ逃げ去る。先の暴漢入り來り娘の姿見ねざるより居眠れる番人を叱り飛ばして娘の行方を搜索す。

◇場面變ると淋しき森林の景。何處ともなく數人の天使現れ出て、樂の音面白く舞踏して居ると突然一發の銃聲あり。天使の姿は又何處ともなく消ね去る。其處へ先の子供は娘を介抱しつゝ逃れ來り側の哨兵小屋に娘を隱し殘虐なる暴漢に發見せられざるやう神に祈り自分も此處を逃れ去る。

◇暴漢は血眼になつて娘の行方を搜しつゝ此處に來り不圖側の哨兵小屋に眼を注ぎ必ずや此中に隱れ居るべしと怖々ながら其戸を開けばコハ如何に確かに隱れた筈の娘は影も形もなく白煙立ち上る中から一羽の鳩飛び出す。暴漢は驚きつゝピストルを以て其の鳩を狙撃すると忽ち雷光閃き雷鳴轟き暴漢等退散

◇再び場面變り美しき花園の中に『平和の女神』忽然として現れ神技を以て招けば日英佛伊米露の軍隊順次に現れ各國々歌につれて分列式を行ふ。此時花園に五色の彩色輝き渡り平和の氣天地に漲りて幕

姫の得度

溫子姫門跡繼嗣 落飾はされねど肉食なさらず

子爵仙石政敬氏の息女にして九條公爵家の養女たる溫子姫が京都村雲瑞龍寺門跡日榮尼公の御後嗣に確定の事は既報の如し目下姫は逗留中の形式にて

◇奥御殿 の居室に起居し江州生れにて八歳の時より四十年間奥向きの御用を承る入江觀淳尼專ら近侍の任に當り居れり、每日午前五時起床朝は八時夕は四時の兩度村雲尼公と御內佛の間にて讀經ありいづれ日蓮宗義は固より廣く佛教の一般に亘りて研究の歩を進むると得度卽ち公式に

◇御後嗣 となられ世間に發表さるゝは明春頃ならん先づそれ迄は通常の服裝にて髮も落さゞれど食事は全く尼公同樣精進料理にして一切の肉食を嚴禁せらると父は子爵仙石政敬氏母は久邇宮邦彥王殿下の御妹素子の方にて同家も同宗の

◇歸依者 にて此の談合の纏りたるは一昨年の事なりしも同寺の門跡は歷代九條家より入つて其の跡を繼ぐの慣例あり現に尼公の如きも伏見宮家に御生れありしも一旦九條家の御猶子となりそれより入山せられたる事なれば溫子姫も此例に倣ひ

◇九條家 の養女となられて同門跡の御後嗣と決定せられたる次第なりと、入山後久邇賀陽兩宮家へ內々の御挨拶に伺候せられたる外に何人にも面會せられずといふ（大阪）

◎住職の家出 朝鮮に搜索願

新潟縣北蒲原郡水原町本派本願寺の無爲信寺住職武田現譽（三）は本年一月三十日無斷家出したるが同寺は目下本堂再築中にて一般係者の迷惑少からざるより其の方を搜索せしに二月十日迄は東京の某旅館にあり更に西下して三月八日迄は京都市下京區の旅館に滯在中なるを突き止めしが其の後行方を晦ましたるものにて同人は常に朝鮮の布敎開發に從事したき由口吻しゐたるより或は變裝して渡鮮し居るには非らざるかと關係者より警務總監部へ宛て同人の搜索方を願ひ出でたり

◎一萬二千圓を捲上げる 不逞鮮人六名

京城の朝鮮人中所謂浮浪者ともいふべき者の中には常に多數氣脈を通じて網を張り時に思ひ掛けない獲物が引つ掛つて儲けた者は忽ち電話なども設置し表面仲介業或は貿易商など大招牌をかけて世間態を誤魔化してゐるものがあるが是等の多くは地方より入京し來る

▼資產家 を物色することに日も是れ足らぬ有樣で、もしも相當の財產家が入京すれば此の社會には直ぐ知れ渡る、知れたが最後で恰度蝦で鯛を釣るやうな仕掛けで資產家を煙に捲き込み目先の慾に迷はせ入代り立代り有ゆる手段と方法を盡し巧言辭を低うして其

▼椋鳥た る資產家に接近して交際を求め遂に其の財產や所持金を捲揚げる迄の段取に及ぶものであるが最近鍾路警察署で檢擧した唐珠洞六十七番地居住の李星振（四一）同洞金德承（四四）樓下洞崔在潔（三五）需昌洞洪泰裕（三九）及び外二名の合計六名は昨年九月中所用にて入京した忠南燕岐郡全義面邑內里の財產家姜龜周（三六）を今年一月末迄京城に足留めさせ前後四回

▼賭博を 開帳し六名は其の都度共謀して詐欺手段を弄し其の結果龜周より一萬二千餘圓を詐取するに至つた而して是等の犯人を嚴重取調べの結果彼等の常套手段の頗る念の入りたるものにて內地人の想像も及ばぬ奸策を弄し居るには係官も一驚を喫した程であつた

◎脫獄囚强盜を働く

二十三日夜小菅監獄を脫走せる五名の內四人は二十四日午前三時埼玉縣越ケ谷町の民家四戸を襲ひ現金數百圓を奪ひ逃走し其筋にては連日連夜警戒せるも未だ縛に就かず（東京特電）

◎過失船夫處刑

五月一日忠南瑞山郡安眠島渡場にて渡船顚覆し蔚刈行きの朝鮮人二十五名溺死したることは既報せしが該渡船の船夫安眠面倉基里の金基市（五こ）は同渡舟には人員十七名以下と牛馬なれば何れも一頭だけを乘込まする樣制限され居るにも拘らず三十七名の多數を一時に乘込ませ前記の如き椿事を惹起するに至らしめたるより業務上の過失致死罪として此の程瑞山支廳にて禁錮七個月の處分となる

◎發疹チブス ＝の豫防法

山口順化院長

近來流行の發疹チブスに關して曩に山口順化院長の談を紹介したが其後、院長より左の通り寄稿があつたから重複を厭はず掲載する事とした

發疹チブスの豫後は腸窒扶斯よりも不良であり卽ち體溫の四十度以上のもの脈搏百三十以上のもの神經症狀の甚しきもの肺の症狀を發したるもの酒客、肥滿者、老齡、腳氣あるものは不良の徴である

△豫防法 本病の傳染力は猛烈なれど『ペスト』のやうではない一般的豫防法として患者を隔離することは勿論であるが尙病室は嚴割にして窓戶を開放し患者に使用した衣類、器具及び病室は嚴に消毒せねばならぬ殊に床板は排泄のリゾール水又は五％石炭酸水にて洗ひ流行地に於ては隣保が勵行し書類の輸出を止め殊に貧民部落に注意せねばならぬ個人としては自己の抵抗を强め常に清潔を保ち好みて人類に寄生する昆虫殊に虱の驅除を勵行し居室は空氣の流通を圖り勿論患者の送迎を行ひ疑はしき患者には接近せざることが肝要である

△療治 目下の處本病に對する特効藥はない故に對症的待期的療法にて滿足せねばならぬ又發病の初期に於て血液中白血球の多きや少なきやを檢査して貰ふのも一策であらう

◎天勝割引 全市民の爲に本紙を通じて

黃金館に開演中なる松旭齋天勝一行は初日以來連夜立錐の餘地なき迄の大入にて非常なる好評を博し居れるが同一行は京城に於いて上記の如き成功を收めたるは全く市民の同情によるところと深く滿足の意を表し居れるが右に就き同座は京城日報、每日申報を通じて全市民に謝意を表する爲め二十八日より三日間別項刷込みの割引券の如き入場料の割引を爲すことゝなりたり

京城日報愛讀者の特權

黃金館興行中なる松旭齋天勝孃の一座は開演以來五日間連夜大入滿員斯界レコード破りの好成績を擧げしは偏に京城全市民各位の御同情に依る事と感謝し我京城日報、每日申報兩社を通じ大入御禮の意味を以て左記の如く大割引を爲す事に決定したり

京日 每申 愛讀者優待割引

規定入場料		割引入場料	
特等	一圓廿錢	特等	一圓
一等	八十錢	一等	六十錢
二等	六十錢	二等	五十錢
三等	四十錢	三等	三十錢

右割引券は本廿八、廿九、卅の三日間同所に刷込み申候故切抜御持參御使用被下度此段御告致し候

天勝一座大入感謝表彰

天勝一座

京城日報 讀者優待割引券

割引料金		普通料金	
特等	一圓	特等	一圓廿錢
一等	六十錢	一等	八十錢
二等	五十錢	二等	六十錢
三等	三十錢	三等	四十錢

此割引券は廿八、廿九、卅日の三日間刷込候故切抜御持參御使用被下度候

京城日報社

西川のかや 本濱蚊帳
夜具 蒲團
疊表 花莚 モスリン友禪
東京日本橋角（橋ぎは） 近江屋 西川商店
電話本局 九四七番 一八三番 長九四八番 一八四番 二六九三番
振替 東京四四九九番
營業の栞は御一報次第送呈

◎六月くじ 六十七回 月賦賣
二千圓七本 以下多數 初回壹枚ニ付壹圓
東京麴町有樂町日比谷公園前 勸業月報社

夏が來た!!! 虫が出る!!!
御用意遊ばせ 鍾馗印を今すぐに!!!

改正定價 小形 金五錢 中形 金十錢 大形 金十五錢 碁石形 金二十錢
各地藥店にあり

◎値上廣告
一、內地人 二圓二十錢
一、鮮人 一圓五十錢
諸物價騰貴に付五月十八日より上記の通り工賃値上仕候也
大正七年五月十八日
京龍錺業組合

京城電氣會社製 特約販賣
コールタール
龍山漢江通り八 電話四九番 金物商 島田忠作商店

ワダカルシユーム錠
◎體力增進の要素◎
入體に對する壓縮肥料 病菌に對する鐵條網
定價
大阪道修町 和田卯助商店

內科 小兒科
呼吸器病 胃腸病 喘息 リユマチス
京城本町二丁目四十五番地 電話二八八〇番
山田病院 院主 山田萬

花吹雪

大阪 中谷青霞

（四十四）

暗がりから唐突に現れて唐士を奪ひ取り、町奴の一人を足蹴にかけた不敵の僧の擧動に、クワツと成つた柳川香雨、刀の柄に手をかけ作ら、ヂリ〳〵と詰め寄せて

『むーさては貴僧が當院の住職雲涯律師とな、して其女を我等が手から奪ひ取り、剰つさへ刃たるものを足蹴にせられたは意趣遺恨ばしおはしてか、但しは表に法衣を纏ひ潜かに非義非道の行爲をなす破戒の所業か、サア返答に因つては沙門の身とて用捨はならぬ、仔細が聞きたい、さ、返答聞かう。』

と柳川は猛な鋭く詰め寄せる。

『默りめされ。』

と一喝鋭く浴びせかけて。

『云はせて置けば僧侶に對して餘りの無禮、物取り强盗とはお身達のこと、苟しくも忍辱の道場たる當院の寺境に入つて婦女子を掠め立去らんとする不敵の奴、爭ふとならば其分には差措かぬ、屹と處分を申附くるが何うぢや。』

『差し措かぬとて何とする。』

『塔中の役僧共呼び集め、悉く搦め捕つて寺社奉行に差出し、お刑律を受させる、さア覺悟をするか』

『それとも…盡尾を卷いて立去るか。』

と一語は一語より鋭い、雲涯律師からからと打笑ひ。

『はゝゝ蛙は口からとやら、非義非道とはお身達の事ぢやよ、繊弱い女性を背後手に縛り、猿轡をはめて何處へ連れ行く了簡か、先づ其仔細から聞かうぢやまで、返答の次第によつては慈悲忍辱の身とて用捨はせぬ、かりそめにも女性の身を斯樣痛々しくも憂目を見せるには、仔細なうては叶はぬ事ぢや、さ、それから話されい。』

と沈著き拂つた聲音。

『ねゝ仔細あらうと貴僧に聞かす因れはない、我等が要あつて連れ歸る女横合からシヤ〳〵り出で、奪ひ取つたは取りも直さず物取り强盗の類ひ、慈悲忍辱を面に飾り世を欺く寶主の僧、搦め捕つて公儀へ突出す、さ覺悟めされ。』

『むーそれは…。』

『人を救ふは出家の役、若し此儀に女性を殘して立去らば、乞食非人の輩が寺内に忍び入つたと見做し、寛大に見遁しても遣はさう、なれど彼是と爭ふとあれば已む事を得ぬ次第ぢや、さア返答せい、さ何うぢや。』

『さア。』

『有樣悪僧が眼に入つては今死ぬ刑人も助け得さすが沙門の道、まして寺境に女性の身を掠奪がましい行爲、救はずにゐられぬ仕儀ぢや、助くるに二つはない、女性を助け得さすとならば、お身達の狼藉も見遁がして助け得さすが、さもなくば是非に及ばぬ、身不肖なれども當院の住職、塔中の役僧共數十人を呼び集め本意ならねども繩著にして差出すまで、可う分別のおしやれ。』

と雲涯律師は唐士を法衣の袖に圍ふたまゝ、泰然自若として不動の形。

『む、法衣を纏うた沙門の身として、人を救ふが本分である、云分は聞わた、なれど其女には仔細あつて人手に渡されぬ紛紜、事は後にも可う解らう、さらば一先づ貴僧に預ける、取逃さぬやう賴み申すわ。』

『うむ、それがお身達の爲ぢやわ、逃げも隱れもせぬ雲涯、事が解れば直ぐにも渡す。』

『ならば御僧確かにお預け申したぞ、こりや奴共此場は一先づ退いて歸る、さ來よ。』

と柳川は胸に一物黑染の末、むか〳〵と後をも見ずに立去つた。

▲お斷り 四十三、四十四は掲載前後せしに付き其の積りにて讀み續けられたし

補血强壯のふり出し藥 婦人病の妙藥 人蔘煎 一日分 一週 廿日分 九十錢 卅日分 一圓七十錢 京城南大門通二丁目 朝鮮化學製藥株式會社 電話一三一六番

□草 第一夜、五月二十三日

庭草にあて縁の下に明りがある 烏堂

わが肩すぼみに立ち夏草の月哉

□大跡に笑つて草冷ゆ草をはなれけり 疎星冠

□ 芹郎

めざめ草の茂み迫りける

ひとりひもじきけ草の穂をぬきすて 浮碧樓

□電燈ともつてから草青くまだ見らぬ人ら

草の葉先がするどくなつてから裏通も人

逝席へ氣のある夜の草しめりき

□夏帽子 五の月十の日会

厭々ショーウインドに近き硼の夏帽 疎星冠

朝の夏帽ふかく冠ぶ貨車の來る過ぎ 芹郎

はじめはれ〴〵夏帽にらみゐける也 浮碧樓

木場の夏帽ならば木場にあるなり 烏堂

回湖南吟社兼題集

若楓

若楓日涸れて谷の水澄めり 十

若楓鶉啼く谷の前葉哉 同

顔おろす手丈艇や若楓 中宜

若楓泉に水無かりけり 俊松

ご院借りの降へ挿くや若楓 同

若楓砂に箒の掃目正し 背兒

登判に焚く朔の箒や若楓 桃雨

蟲こぼち明るき手や若楓 不倒

水濁めて鶏ゐく檣つ若楓 老楓新

來晨を盗ふ楓倉葉や流の風 待宵

若楓水落れば魚おさる 桂水

酒泉盛と朱入りし宿や若楓 同

苔喰はむ水盤の畔や若楓 自骨

石にたりて契に水汲む若楓 游山

若楓寺鹿歩みる奈良の世 獣女

若楓の陰に靴朝編む女 みつる

木移りす山鳩の羽風や若楓 風骨

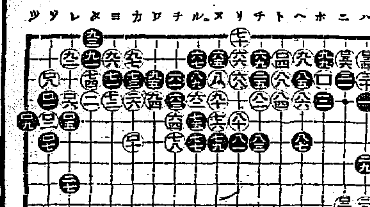
次回兼題 瀧殿、夏の朝各三句吐六月八日締切大田森日町二丁目森川桃雨氏宛投吟のこと

碁戰（七）

大正七年五月二十日於京城 京城日報主催開悲會（倶樂部）

先 五段 柯亭 關源吉氏

三段 山 平壽氏



●	一二一	ルの十五
○	一二二	ワの十三
●	一二三	ハの十
○	一二四	ニの十
●	一二五	ロの九
○	一二六	ニの九
●	一二七	ロの十一
○	一二八	ハの十二
●	一二九	ロの十
○	一三〇	ハの十一
●	一三一	ルの十四
○	一三二	チの十三
●	一三三	ホの十三
○	一三四	ヘの二
●	一三五	ロの四
○	一三六	ニの二
●	一三七	ロの十一
○	一三八	ロの十三
●	一三九	ホの十一
○	一四〇	ニの十一

新刊紹介（到著順）

▲俺の詩（六月號）十錢 牛込早稻田南町四五八社
▲教育時論（一一九二）十錢、東京麴町區飯田町四の九開發社
▲雅德（八の五）六錢、鹿兒島市山下町三九五鹿兒島山報地會事務所
▲良民（八の五）五錢、東京麴町區平河町五の三六共社
▲湯明（七六）十錢、大阪東成郡天王寺村大阪陽明學會
▲朝鮮遞信協會雜誌（五號）十二錢、京城光化門通遞信局內共會
▲帝國農會報（八の五）十二錢、東京赤坂溜池町一共會
▲市町村雜誌（二九四）十三錢、東京芝田村町六共社
▲朝鮮鐵道青年（八の五）龍山鐵道構內朝鮮鐵道青年會
▲婦人週報（四の二〇）五錢、東京牛込市ケ谷田町二の一七共社
▲京城藥報（五二）一ケ年一圓京城旭町二の六〇京城藥報社

讀者の領分

▲三月より〔以下判讀困難〕

[illegible]

（一投稿者）

子寶なき婦人と子宮病者の『命の母』

子宮病とはどんな病か？ 知らずに病んでる人がある

命の母とはどんな藥か？

治癒姙娠の實例が澤山ある

子宮は子供の宮殿とも

稱へらるゝ位大切な箇所で一面から申せば婦人の眞價は子宮の完全にあるとも云い得る事も出來ます所が其の大切な子宮は種々なる原因から多樣な病氣に冒され御婦人三人寄れば必ず其の中の一人位は此のいまわしき子宮病に罹つて居るとの事は情ないしいお話しであります凡そ婦人病中子宮病ほど執拗くそして怖ろしいものはなく若し本病に取り付かれるとまづ女としての生命の半分位は縮められたと同樣の結果に陷りますされば已に本病に罹つてゐる人の容體氣分はどんな工合か效に背樣の爲に其大體の研究を致して見ますと子宮內膜炎、子宮外膜炎、子宮頸管カタル、子宮實質炎、子宮前屈、周圍炎、膣炎其他種々ありますが其中で一番多いのが子宮內膜炎で此に急性と慢性とあり急性とは初め下腹が痛み續いて熱を發しコシケが下りて來るのですこれは普通月經の二三日にして起り主として男子の淋病を受けて起るのが多く稱には月經の取扱ひが惡い爲めに起ることもあります慢性とは急性から移つたもので一層危險な状態に立至つた爲めにコシケは勿論の事、頭痛、眩暈、足腰痛み又は冷え消化不良、氣鬱ぎ其他種々なる症狀を呈し更に之が進んで來ると附屬器管の病氣となり子宮の外膜にも達し非常な激痛を來し耐へきれないで其都度醫師の注射を受けねばならぬ樣になり之が昂じて遂には卵巢を冒すと云ふ風になり又は惡性と云ふ頑固な子宮實質炎、喇叭管炎、卵巢炎等になり即ち女として最も不幸なる不姙症となるのであります是が婦人病の趨勢の常に手當て氣を付けねば次第に成り易いの成のは勿論此の病の起りは耳鳴り差込み最初の頭痛、息切れ、物案じ食慾不進、動悸、不眠症、月經不順等の惡寒逆上、肩凝り、から平素からよく〳〵注意してこれ等の微候が一つでもありました

可愛い子寶の出來ない

のは皆この子宮病の爲めであつてかくては一家の悲慘は勿論國家の大問題でありますが何にしろ子宮病は極めて頑固な難治の病でありますから現代最も進歩せりと稱せらるゝ洋藥でさへも本病に對しては無能の効を奏する譯には行かぬとの事であります然るに效に多年の刻苦研究と絶大の努力とに依つて遂に發見されたる『命の母』は實に過去に於て幾多の婦人病を救濟し偉大の奇効を奏してゐるので今や藥物界の奇蹟と迄稱せられてゐますが、これ全く奇蹟にあらずして、シンから子宮病を治する力があるので彼の有名なる下山藥學博士を初め醫學博士より極力稱讚推奨せられ立派なる說明をして居られる等より以て人氣を一身に集め他の種々なる藥の上に斷然覇王の位置を占めてゐるのであります故に『命の母』は其實れ行きに於ても第一等で全國到る處の藥店に行き渡つて居るので即ち『命の母』は婦人藥の第一等藥として大なる信用を以て人ら直ちに手當てを加へねば前に申す樣に後から取り返しの付かぬ大變な事になりますそして何より

婦人病自宅療法

斯の如く婦人病は最も怖るべく一身を誤らせ一命をも奪ひ去る病氣でありますから前に申しました兆候の中一つでも思ひ當る人は一刻も早く相當の手當をせねばなりませんそこで最も安心なる家庭療法として婦人科專門醫學大家が婦人病者の爲に書かれた『婦人病者の心得』と云ふ本を一讀して其通り實行するのが最も確實であり本書には姙娠及不姙症の原理婦人病一切の原因治療の方法等が最も丁寧に誰が見ても分る樣に書いてありますから何人も自宅で療法が出來ます本書入用の方は東京京橋區藥研町四丁目笹岡省三（電話京橋二三〇一番）あてハガキ又は電話にて御申越しあれば無代にて進呈いたします

主治 效能 足腰冷え、下腹引ツリ痛み、頭痛めまい、月經不順、ヒステリー、白帶下、子宮內膜炎、産前産後

定價 試用 十日分 五十錢 一週間分 八十錢 二週分 一圓五十錢 四週分 一圓（ ）

●本舗へ直接御申込みの方は郵便代二錢加算 命の母は遠方に限り分割拂も郵可應ず詳細は御照會下さい

MITSUWA QUINA-IRON WINE

Being prepared from the best materials by thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.50

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ治病の完壁を期し回春の喜を迎へしむべき

◎ミツワ規那鐵葡萄酒

滋養强壯料

香味色佳良滋養力偉大 健胃補血興奮作用卓絶

（現品縮寫圖）

定價 一瓶 金壹圓五拾錢 （地方は外に送料申受候）

本品は山梨縣宮崎葡萄酒釀造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に容易に變敗する憂なく規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、硬壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、榮養不良、慢性の發熱並下痢、貧血、萎黃病、貧血より起る神經性疾患、殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、産後並病後の衰弱、一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり。

▼如斯人は滋養料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし

一、食餌の進まぬ病人
一、營養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く感冒に罹り易い人
一、産前産後の滋養を圖りたい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人

一、色蒼く肉痩せ活潑ならぬ人
一、所謂腺病質の人
一、腺病即ち瘰癧に罹つて居る人
一、頸細長く痩せ咳嗽や痰の多く出る所謂結核質の人
一、血よりも多く出る所謂結核性の人
一、下痢の永く續いて居る人
一、萎黃病など血液の病に罹つて居る人

一、肺結核や腦結核、肺尖加答兒や肋膜炎、其の他結核性の病などに永く苦しんで居る人
一、右の如き病で發熱の永く續いて居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に惱まされて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に惱まされて居る人

MITSUWA GINSENG WINE

Mitsuwa Ginseng Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and force, is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous bebility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria. Price ¥ 1.50

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き身體の强壯を圖り尙新活力を賦與し得べき

◎ミツワ人參葡萄酒

模範强壯料

風味高潔淸和滋養豊富 精力增進興奮作用優秀

（現品縮寫圖）

定價 一瓶 金壹圓五拾錢 （地方は外に送料申受候）

本品は科學的研究を經て、効力卓絶なりと認められたる人蔘を、周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして其の色は紫紅にして鮮麗、其香は芳芬にして澄爽、其味は濃厚にして輕快、能く何人の嗜好にも順應し精力を增進せしめ、榮養の佳良並身體の强壯を齎らし精神の困憊並筋骨の疲勞を除き、一尙健者に新活力を賦與する上に於て他の物を以て代ふべからざる効果あり、本品は隨時隨處飲用すべく、一度沸騰したる水或は諸種の淸涼飲料を以て稀釋するも可なり。

▼如斯人は强壯料◎ミツワ人參葡萄酒を用ふべし

一、精力を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、身體を强壯にしたい人
一、精力を增したい人
一、元氣を良く活潑にしたい人
一、延年長壽を願ふ人
一、精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人
一、不快な感覺や苦痛を忘れたい人

一、食餌を進ませたい人
一、消化を良くしたい人
一、營養を良くしたい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、勉强又は勞働して疲れた人
一、生來虛弱な人
一、身體の衰削ける人
一、貧血して居る人
一、顏色が蒼褪め齒の無い人
一、手足や腰腹が冷えて困る人

一、些細の事で氣にかける人
一、悲しい事も無いのに泣きたくなる人
一、悲觀して厭世的になる人
一、精神が激々とする人
一、時々氣が大ぶ人
一、陰氣で憂鬱など生殖器神經衰弱に惱んで居る人

大阪商船株式會社汽船出帆廣告

仁川出帆

◎神戶、大阪行 △日清丸 六月八日 後五時 △日滿丸 六月十七日 後五時

元山出帆

◎浦津行 安平丸 六月五日 後十二時

◎釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 宮島丸 五月三十日 後九時

大連出帆

◎上海、基隆、打狗行 湖北丸 六月七日 前六時 基隆丸 五月 日 後四時

內地各港出帆主要航路

濠洲行 毎月一回 北米行 毎月二回 南洋行 毎月一回 孟買行 毎月一回

御注意 ▲外航路ノ船客ハ出帆時刻ヨリ約五時間前ニ乘船ノ事 ▲約束ノ貨物及船客ハ...

大阪商船株式會社 京城切符賣捌所 京城代理店 仁川支店 電話七〇番

最新刊

◎ポケット日鮮語辭典
井上侯全傳 伊...
戰後の研究百人一話
公民年鑑 帝國教育會
光と生物
鑛山事業物語
海嘯横斷記
自然界の現象
新式代數學精講
學校唱歌
家庭面白いお伽噺

露西亞に遊びて

京城本町 大阪屋號書店

（本店）東京（同店）大連

百円進呈

りんばい病毒（藥合劑）

帝國醫科大學病院

分析料百圓

にせ物

鑑製の文字無き物は凡て僞物なり御注意あれ

製造元 大阪 合資會社 ドラッグ商會

發賣元 京城南大門外 ドラッグ商會本部

支店 京城黄金町三丁目 平壤 龍山 釜山 仁川